

大阪電気通信大学同窓会組織

ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会



YU DEN KAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University



活躍するOG

岡島 奈央子氏

「ちょっとだけ さきんじて進みたい」

イキイキした
生活してますか



宮部 彰乃 氏

「刺激を糧に
自分らしい夢実現を」



卒業生・入学生特集



ゆうでんかい

大阪電気通信大学同窓会組織友電会会誌

Contents

- 02 会長祝辞 廣谷 明
- 03 学長祝辞 塩田 邦成
- 04 「ちょっとだけ さきんじて進みたい」
..... 岡島奈央子
- 08 「刺激を糧に 自分らしい夢実現を」
..... 宮部 彰乃
- 09 退職される先生からのメッセージ
～学生と歩んだ研究40年～
..... 川口 雅之
..... 高畑 顯信
..... 山下陽一郎
..... 佐々木厚司
..... 前川 泰之
- 12 Enjoy School Life
～新春若者座談会～ 組織支援部会
- 14 学生100人に聞きました
～電通大生の生活実態調査～ 大学生協調査
- 19 2025年は飛躍の年 廣谷 明
～特色ある友電会事業～
- 20 2024年度事業報告 事務局
・1年の足跡
・ホームカミングデーの一日
- 24 社員の広場
～意識調査2024～
- 27 学校法人評議員レポート
..... 阪井 悦三
..... 中村 通
..... 堀江健二郎
..... 廣谷 明
- 28 支部活動1年
・特色ある取り組み【大阪紹介】 平岡 臨
..... 【東京紹介】 蕭 炯森
- 32 2024年度短期貸付金と貸与奨学金報告
..... 学務課
- 33 おくやみ 黙禱
- 34 北から南～会員からのお便り
- 36 友電会社員に聞きました 事務局
～会誌140号に関するアンケート～
- 38 お知らせ
～'25新人歓迎会 IN TOKYOと社員の紹介
- 39 学生の活躍 ～課外活動表彰～

編集後記

寒い時季が過ぎれば春がやってくる。校庭の桜は、固い皮をかぶって寒さに耐えているようだ。
春とは名ばかりだが、多くの学生は春休み中、キャンパスは閑散としている。
卒業式が一月後にやってくる。4年生は、卒業前のひとがんばり、論文提出に追われている。
学生生活 4年間の成果がこもった論文発表会になることを期待している。

会長挨拶



卒業生のみなさま
ご卒業おめでとうございます！

新入生のみなさま
ご入学おめでとうございます！

同窓会(友電会)は あなたを応援しています！

～「出会いが宝」「学びは力」なり～
一社法人友電会会長 廣谷 明

私は、本学の同窓会(友電会)会長の廣谷 明と申します。

卒業生の皆様は、学生時代で多くの知識を学び、技能・技術を獲得されてこられ、本日より同窓会組織(友電会)の正会員とされました。心より歓迎いたします。

我が友電会は、1965年(昭和40年)に創立され、以来5万8千余人の同窓を数える組織となっております。そして、2021年(令和3年)に一般社団法人として再スタートいたしました。卒業されました皆様方のご参加を得て、益々力強い活性が得られることを期待しております。皆様の活躍が在校生の励ましとなり、母校の飛躍・発展につながって行きます。

社会の各方面で活躍されるにあたり、友電会とのネットワークを大いに活用していただき、生きる自信に繋げられることを願っております。世界は広大で無限の可能性を秘めています。学生時代の「学びを力」に前向きに焦らず柔軟に生かしてください。

さて、入学生の皆様は、我が母校・大阪電気通信大学で社会人基礎力の育成をはじめ、技術者として基本となるICT活用を持った人材の育成など、社会が求め期待する人材の育成に力が注がれ、そこでは最先端の学問に触れ学びそして、専門の研究をとおして必ず学びがいを感ずることと思います。「出会いが宝」なり。今日の多様で変化のある時代に正しく接し・対応できる力を身につけ充実した学生生活を送ることができるよう同窓会(友電会)として学生支援に努めて参ります。

皆様の今後の活躍とご健康・ご多幸を祈念し、ご卒業、ご入学にあたりご祝辞を申し上げ挨拶とさせていただきます。

会誌を制作するために多くの方々のお世話をいただく。取材して記事にまとめ相手に認めてもらう。そうして完成した一冊です。

人は人として出会い、気持ちを交わしながらお互いが育っていく。もの作りは実に面白い作業だ。

あなたもたくさんの出会いをして、もっともっと伸びて行ってください。

2025年2月吉日



「祝 辞」

卒業生・修了生の皆さん、卒業ならびに修了、誠におめでとうございます。

また、ご家族をはじめ、関係者の皆さまにも心よりお祝い申し上げます。

さらに、日頃から本学へのご支援・ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

皆さんが在学されたこの数年は、社会が大きな変化に直面した時期でもありました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、日常が大きく揺らぎ、多くの制約や新しい挑戦を余儀なくされる日々が続きました。授業がオンライン形式に切り替わったり、活動が制限されたりと、不安や焦燥感を覚えることもあったかもしれません。しかし、そのような困難な状況の中で、皆さんは粘り強く努力を重ね、ご自身の目標を達成されました。この卒業・修了は、まさにその成果であり、心から敬意を表します。

このように社会の常識や日常が大きく変わる時代ではありますが、新たな価値観やビジネスが生まれる機会でもあります。皆さんが培った「柔軟な発想」と「変化を受け入れる力」は、これからの社会を切り開く大きな力になることでしょう。本学での学びに自信を持ち、それぞれの道で大いに活躍されることを期待しています。

皆さんの未来が輝かしいものとなるよう、心よりお祈り申し上げます。新たな一步を力強く踏み出してください。

そして、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族や関係者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。本日、皆さまとともにこの喜びの瞬間を迎えられますことを大変うれしく思います。

高校生活ではさまざまな経験を積まれたことと思いますが、これから始まる大学生活は、新

たな挑戦と成長の場です。本学では、教職員一同が全力で皆さんをサポートいたしますので、安心して自分の可能性を広げてください。

新しい環境での学びや出会いが、皆さんにとってかけがえのない財産となることを心より願っています。

本学では教育改革の取り組みとして、2024年度より全学的にカリキュラムを改定し、1コマ90分15週授業としていたものを105分13週授業としてスタートさせました。この変更により、ディスカッションやアクティブラーニングなど、柔軟な授業展開の中で、多彩で魅力的な授業を展開することができました。授業期間の短縮により、休業期間に海外留学、インターンシップ、ボランティア活動など課外活動にも活発に取り組める環境を整えました。

皆さんの新しい学生生活が夢と希望に満ちたものとなるよう心より応援しています。

最後になりましたが、本学は今期で61期の卒業生を社会に送り出します。現在、5万8千名を超える卒業生が社会で活躍しています。卒業生は、同窓会組織となる友電会の会員として現在も繋がっています。このネットワークの益々の発展とともに、あらたに会員となられる卒業生、修了生のみなさん、将来会員となられる新入生の皆さんの益々のご活躍、そして友電会会員の皆さまの益々のご活躍をお祈りします。

大阪電気通信大学学長 塩田 邦成

「人の一生は重荷を負うて
遠き道を行くが如し 急ぐべからず」
徳川 家康

受験という重荷を降ろしてこれからの楽しい生活に思いを馳せる18歳のあなた、新型コロナ感染症の影響をともに受けて物足りない大学生活に寂しさを感じながら今日の晴れの式典に出席している卒業生へのメッセージ

岡島 奈央子氏 (富士通(株))

Okajima.naoko

インタビュー

富士通 Japan 株式会社
Public & Education 事業本部
東京公共ビジネス統括部 東京教育ビジネス部 部長

学歴及び職歴

4人家庭で育つ(奈良県出身)

1993年 4月 経営工学科 入学
1995年 1月 阪神淡路震災を体験
1995年 4月 情報心理学(石桁)研究室に所属
自費で単身語学研修を体験
1997年 3月 卒業
リコージャパン(株)入社
1999年 12月 退職
2000年 1月 語学研修で豪州生活開始

澤居 私が大学生時代にベストセラーとなった「僕って何」(三田誠広著)は、大学生になったばかりの学生の葛藤を綴った本です。青年期とは、「自分はどんな人間なのか」「どんな性格なのか」「何をやりたいのか」「どんな職業につきたいのか」の答えをさがす時期だと言えます。これからの暮らしの中で自分を肥やす場所を見つけて「自分らしさ」を探求し続けてください。今は、私が学生になった50年前と比べて、「予測ができない次代」を迎えています。どのように過ごせばよいかは、自身の特性やスキルだけでなく広い視野で時代を見る目が求められます。友電会には、経験豊富な先輩がいます。ぜひ、あなたも友電会活動に参加して諸先輩の話の輪に加わってください。お待ちしております。

〈参考〉

●エリクソンの発達課題・発達危機

段 階	発達段階	発達課題	発達危機
第1段階	乳児期	基本的信頼：絶対的な愛を感じ、信頼のパターンを確立する	不信
第2段階	幼児初期	自律感：しつけを通じて規則正しい生活習慣を得る	恥・疑念
第3段階	幼児期	自発性・主導性：積極的に自ら他者に協力する	罪悪感
第4段階	学童期	勤勉性：目標達成に向かって努力をする	劣等感
第5段階	青年期	アイデンティティの確立：自分を大切にする気持ちを持ち、自我同一性の感覚を得る	役割の拡散
第6段階	成人初期	親密性：他者・異性と友情・愛情などの信頼感をもつ	孤立
第7段階	壮年期	生殖性：次世代を生み、世話をし、経済的生産を行う	自己陶酔・停滞
第8段階	老年期	統合性：知識・経験を結びつけていくことができる	絶望

アイデンティティ(自我同一性)の確立は、青年期の発達課題である。

大学生生活4年間(修士課程は6年)は、ヒトの発達を段階に分けるとトラディション「人生の移行期」(Erik H. Erikson)と言うそうです。(エリクソンの発達段階理論は、人間が生涯を通じて経験する心理社会的な課題や危機を、8つの段階に分けて示した理論です。)



2025年1月17日午後5時快晴
JR川崎駅前のはんびりした空気に包まれている。
品川駅から在来線に乗り換えて10分後には
多摩川を越えて神奈川県に入っていました。
駅に隣接した交通の便が良い
Fujitsu Uvance Kawasaki Towerで
待ち合わせしました。



澤居 1990(平成2)年に本学経営工学科を希望して入学してくる女子学生は1割もいない時代でした。

当時の「〇〇らしさ」の考え方では、女子は人文系が家政系に進学する傾向が強かった。

※経営工学科に在籍した女子学生数は、3人、6人、3人。(1991～93の3年間)

澤居 女子学生の入学生が少ない時代ですよね。どうして、本学を選ばれたのですか。

岡島 中・高生の頃は、理数系が得意でした。それが第1の理由です。また、子どものころから「男性」の中でいる方が「自分らしく」いられると思っていました。女子高、女子大に合う性格ではないし。けれど、苦手な文系教科(国語や英語)を避けたことが後々、ターニングポイントになっていきます。

澤居 在学中の思い出話を紹介してください。

岡島 思春期の頃はどこにもある父と娘。必要な時だけ一方的に話すという関係でしたが、進路・就職に際しては、よく会話をし、助言を受けました。自分探しの道々で不確かな自分を一番理解してくれる父の存在は、娘の私を受け入れながら優しく背中を押してくれてあるべき判断を示せる人生の師だと思いました。ありがたかったです。

澤居 生き方に影響を与えた先生との思い出がありましたか。

岡島 3年生になり、情報心理学(石桁)研究室に所属しました。他の大学に進学した友人から刺激を受け、就職前には海外を体験しないとイケないなという思いと同級生よりも半歩先を歩きたいとの考えで、単身オーストラリアのシドニーに語学留学に行きました。たった2カ月の短期留学でしたが、コミュニケーション能力の未熟さを痛切に感じ戻ってきました。理系女子として大電大に入りましたが、ここで改めて苦手意識があった逆サイド(＝国語力と語学力)へのアプローチが必要だと実感しました。

また、同世代の日本人と外国人との違いを認識した滞在でもありました。残念ながら、その時の私には、自分自身のことも自国日本についても何も知らず、説明するモノも言語

能力もありませんでした。

それが、私の初めての海外での体験となり、「いつか必ず戻って自分にリベンジする」という決意に変わっていました。

澤居 逆サイドの自分への挑戦とはどういうことですか。

岡島 1997年4月、奈良市内の企業に就職しました。日々顧客と向き合いながら、もう一度オーストラリアで自分へのリベンジを果たしたいと言う想いは次第に大きくなり、資金を蓄え1999年12月退職、翌1月にオーストラリアのケアンズでの語学研修に向け旅立ちました。やはり自分で稼いだ渡航費・授業料だったので、半年間とにかく勉強しましたね。次第に現地人とコミュニケーションがとれている自分が見え始め、思い切って、「あれから3年、成長した奈央子」を見てもらおうとシドニーでお世話になったホストファミリーに電話しました。「もう一度、ホームステイさせて!」と頼み込みました。実はそのホストファーザーは、1964年の東京オリンピック自転車競技に出場した元オリンピックでした。3年前にも同じ話を聞いていたんですが理解してなかったのですね。

再会が嬉しかったのはもちろんです。ホストファーザーは「本当に3年前、何も話せなかったナオコ?」と最高の誉め言葉をくれました。そして、「今のナオコなら、シドニーオリンピックでボランティアができるよ」と面接を受けるきっかけを与えてくれて、オリンピックの運営をサポートする仕事に就きました。1チーム6人編成でインド人女性をリーダーに多国籍編成、その上にジェンダーレス、高齢の女性に発達課題がある青年も混ざっていました。当時の日本人の感覚からは考えられない多様なチームでした。それが今、正に職場環境につながっています。ダイバーシティな環境で働けたことが、自身の考える組織作りの根幹になって私を支えています。

その後、シドニーオリンピックが終わり、現地インターネットカフェで富士通(株)に応募し、この経験こそが私自身の強み・自信となり帰国後、日本での採用となりました。



大学3年生のとき、2カ月の語学研修旅行に出かけた岡島さん。

多感で向上心旺盛な20才の学生。理系の学生にありがちな語学が苦手な人だったそうです。案の定、オーストラリアの語学学校では底辺クラス。必死に、でも級友とかけがえのない時間を過ごしたと話してくださいました。お話をしている横顔が実にキラキラ輝いて見えました。素敵な思い出を聞かせてくださってありがとうございました。

昨年、その時の級友と25年ぶりに再会、チェコで親交を温めてきました。

30年間は文通やオンライン会話で友好を深めてきたそうです。一度結んだ絆を大切にされる女性なんだな。阪神淡路震災の年の出逢いでした。「つなぐ」ことが大切なんですね。

JR川崎市駅前にあるJR川崎タワー

澤居 現在31人の同僚と働く岡島さん、職場環境について尋ねました。

岡島 職場は、JR川崎駅から徒歩3分地上28階の駅前ビルです。フレックスタイム制あり、リモートワークあり、出社しても、オフィス内に固定の席を持たず、自分の好きな場所に座って働くワークスタイル(フリーアドレスという)など、働く社員一人ひとりが違ってよい多様性を尊重する職場です。

澤居 関西育ちの岡島さんですが、仕事では関西弁はお使いになられているんですか。

岡島 関西弁は、関東の方にはキツめに伝わってしまうため、顧客の前ではほとんど使いません。ですが、社内では標準語とのバイリンガルです。

澤居 今回、初めての訪問で事前にQRコードをいただきました。受付には、電車の改札口のような機械が並んでいます。聞けば静脈認証システムで入館者を管理しているといいます。取材に同行した横浜勤務の杉田氏は、慣れたものでした。どんどん、ハードウェアも変わると時代になったと取り残された感を味わうひと時でした。

取材を終えて

ソフトウェアの面でも変革があります。

これからの皆さんへ 岡島さんからのメッセージ

私が日本に戻ってきた2000年初め、営業やSEと呼ぶ業種には結婚・出産を経験したママさんはいない時代でした。女性にとって結婚を機に寿退社することが理想と言われていました。日本より20年早くオーストラリアで、インド人女性のチームリーダから学んだ『性別や宗教、そして国籍・母国語は自身のキャラクター』と、違いを強味として捉える生き方に、自身の女性観が変わりました。男性社会だった富士通を変えるためにも私は母業と両立し、しぶとく仕事を続ける。もし私が管理職になれば、後ろに続く女性も働きやすくなるだろうという思いで歩んできました。

もちろん、いろいろな年齢層や立場の女性が居ますが、「おかん」も貴重な存在です。若い社員にはない厚かましが、社内外で

頼もしい存在になるんです。

世の中が変わり、男女雇用均等法や子育てのありようも変わってきました。

今、私の半生50年を振り返るとき、20代はオーストラリア体験、30代は子育て、40代は管理職を経験してきました。海外生活をして初めて見つめ直した日本。帰国後も理想の女性像に近づこうとして生じた葛藤や軋轢。でも、こうして50歳まで歩んでこれたことを周囲の方への感謝の気持ちを忘れず、理想とする「私らしい」生き方に邁進します。

いつも人より ちょとだけ先んじて進みたいと考えて生きています。ありがとうございました。

「BIG MAM 岡島」「頼りになるおかん」 そんな感想を持った取材になりました。

河岸を変えてお話しませんか。

岡島さんからの誘いを断る理由はありません。

富士通川崎タワー地階のお店に移動して3人の話は弾んだ。

ほぼ初対面であるのかかわらず、学生時代、2度のオーストラリアへの留学、社会人になってからのことなどざっくばらんにお話いただいた。「これが同窓のよしみだろうか？いや、これが彼女の持つ対人関係を構築する術に違いない」と感じた。インタビュー後に食事に付き合っていただけになった。

そこでチェコのプラハにおひとりで行かれた話をしていた。「なぜチェコに？」とお伺いすると、最初の留学時のクラス仲間がチェコに多くいらっしゃるのとことだった。ウン十年前のクラス仲間と連絡を取っておられたことに驚いた。「最初の留学時は語学力が…」とおっしゃっていたが、語学力だけではない、彼女のコミュニケーション能力の高さに感銘した。インタビュー時の2度目の留学で最初の留学時のホストファミリーに突撃したお話などから、彼女の魅力の源は、「出会いを大切にすること」と「行動力」から成り立っていると感じた。お話を伺うにつれ、この

「コミュニケーション力」を職場やご家庭で遺憾なく発揮されていることが垣間見えた。

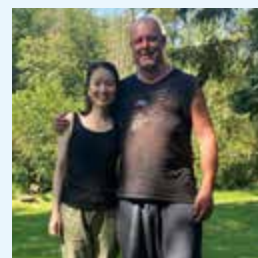
学生時代の恩師、研究室仲間のことについてもお話が出てきたが、このことから彼女が「出会い」を大切にされていることがうかがえる。

彼女のような「会話能力」は簡単に得られるものではないが、身近な、小さな「出会い」を大切にすることが「会話能力」を高める第一歩ではないかと感じた、素敵な時間でした。

企画広報部会 杉田吉広



2020シドニーオリンピックでボランティア



35年ぶりに訪ねたチェコの親友との写真

川崎市の名所 紹介 川崎大師

川崎大師(正式名は川崎大師平間寺(かわさきだいしへいけんじ))は「厄除けのお大師さま」として親しまれています。Fujitsu Uvance Kawasaki Towerから京急川崎駅まで移動して川崎大師駅で下車、ほどなく門前の賑わいが始まります。川崎大師は、東京・首都圏お参り人気ランキングでも上位のお寺です。立派な境内には常香炉に供えられた線香から巨大な煙が立ち込め、正月の空気を浄めているように見えました。



門前から見た本殿



川崎大師の門前の風景

先輩訪問記

同窓会が発足して60年、今回は社会の一線で活躍されている女性を紹介します。彼女の来し方から卒業生、入学生一人ひとりの世渡りの灯りにしていただきたいです。

2025年1月17日 富士通 Japanにて取材

記者 企画広報部会 杉田 吉広

友電会事務局 澤居比佐夫

撮影 澤居比佐夫

■ 岡島様のご活躍について

大阪電気通信大学
学事・会計課 川上和昌

私が、岡島様との出会いは、就職課で岡島様が相談に見えたことがきっかけでした。いわゆる意識高い系の方でした。卒業後の岡島さまのご活躍を拝見していると、社会でご活躍される方の特性が見えてきました。

これは、まとめると次の3点となります。学生時代の思い出に触れながら、その片鱗を持ち合わせていらっしゃいましたことを述べます。

(1) アドバイスすると、それを行動に移せる素直さと意欲がそなわっていらっしゃいます。

当時、就職課のスタッフであった私に、岡島さんは「おもちゃに関する仕事に興味があり、どのように就職活動をしたらいいでしょうか」とご質問されました。

電気や機械メーカーやIT関連などなら私は説明できるが、おもちゃについては社名は承知しているが、各社の採用意欲まで具体的な情報はその時は持っていなかった。

そこで、岡島様の人柄をみて、「まずは、大阪市内の松屋町筋商店街(おもちゃの間屋街)に行き、お店の雰囲気や気さくな店員に話しかけて、どのようなお仕事かされているのかを聞いてみることはどうかな」とアドバイスしました。岡島様は、これを実践されました。知り合いがいない場所で、働いている店員さんに話しかけるには、相当の勇気が必要であり、面倒くさいことです。今なら、ネット検索の口コミなどでわかった気になるのとは、大きな違いです。

後日、岡島様は、実際に松屋町を訪問したこと、おもちゃ業界はめざましいとの報告がありました。

自分で行動したからこそ、納得感と別の興味ある方向性をめざすこととなりました。

(2) どのような場合でも、人と交わることができる力を備えていらっしゃいます。

友人や同級生も巻き込んで就職課に行くように同行してご案内されていました。

岡島様は学生時代や卒業後の留学など、国内だけでなく海外に目を向け実際に生活することで、多様な人間がいることの理解や対応には、話しかけて意思疎通をすることの大事さを身につけられていました。その姿勢が、ビジネスでも部下や取引先への語りかけをはじめ、ご自身が世話焼きとおっしゃる大阪人(奈良ご出身)気質が、周囲から好意的に受け入れられていらっしゃいます。

(3) 実際の現場に出向くことや現実を見つめることをいとわない行動力やトライ&エラーする行動パターンや思考が学生時代から備わっていらっしゃいました。

(1)のエピソードで述べたように、今なら、まずはネットの口コミなどの検索はじめ、表面的には得るものはありますが、確信や決断という納得にはやはり現場に行き、肌感覚を含めヒアリングや仮説検証などが必要です。実際に現地を訪れリサーチや検証することの繰り返しは、周囲を巻き込んだ苦勞の連続の中で結果を出し続けていらっしゃるとのこと。

このように卒業後も行動(試行錯誤)するという挑戦の姿勢は継続され、その活躍ぶりについては、後輩のキャリア授業でご講演をお願いしたこともあり、大変な好評となりました。

今後もさらなるご発展を期待しております。

■ 後輩、岡島さんへ

大阪電気通信大学 総合情報学部
ゲーム&メディア学科 教授 横山 宏

西池(旧姓:岡島)さんは、石桁研の後輩になります。私は9期で氏は26期です。石桁研は石桁正士先生(本学名誉教授)が、昭和46年度から36期間で350余名を社会に送り出された研究室です。卒研では、情報心理学・教育工学をベースにした問題解決力とやる気を学び、とりわけ「視座・視点・価値観」の考え方が鍛えられました。

氏と出会ったのは、私が短期大学の講師として母校に着任してから、研究相談で石桁研詣でをしていたおり、配属が内定した3年生との茶話会だったと思います。自己紹介で「石桁教授のお嬢さんと同じ名前の

岡島です…」と、めっちゃめっちゃ明るい女子学生でした。当時の石桁研は、そう簡単には卒研が合格しないという噂の研究室でしたので、これはやる気のかたまりが入ってきたなという思いを抱いたと記憶しています。その後の経緯は、ご本人の記事に委ねるとして、卒業後の石桁研同窓会のたびにお会いし、いろいろなお話を伺うたびに、「そりゃ、岡島さんだもの」と納得する次第でした。昨年の石桁先生米寿のお祝いの会にも、大雨で遅れた新幹線に閉じ込められながらも東京から駆けつけてくれました。「遅れちゃいました。岡島です」の元気な声に「来た来た、岡島さんだ」と嬉しく思いました。

最後に、これからも石桁研で学んだやる気と視座・視点・価値観の考え方に磨きをかけて、ますますの活躍をお祈りしています。

活躍する先輩たち紹介

expo25 へつながる夢 続編

宮部 彰乃 さん

就職会社：三協フロンテア株式会社（ハウスメーカー）
本誌139号（2024年3月14日発刊）でご紹介した建築デザイナーに憧れて建築学科に入学された宮部彰乃さん。2023年3月、本学を卒業され、社会人3年目を迎える。大阪万博が近づき、現在の彼女に会いたくて訪問インタビューした。



今の仕事は楽しいですか？

現在は関西支店の設計部で、店舗やオフィスの図面を描いています。

入社1年目は専門的な知識が追いつかずに苦労しましたが、一級建築士の資格取得の勉強を始めてから状況が変化してきました。知識が増えてきて、営業部門からの質問に答えられたり、お客さんに違う視点で提案で

きたり、自分で対応できる機会が増えて、ちょっとずつ自信がついてきました。最近はやりがいも感じられるようになって。仕事が終わると一級建築士の資格取得のための学校に通っています。周りの人も頑張っているので、自分も、昨年以上に頑張れる感じです。



心境に変化はありますか？ ～新社会人や入学生へのメッセージ～

※小さなことでいいので、コンペに限らず何かに挑戦することで、自信をつけていってほしいです。(自分もそうだったので。)小さな挑戦を重ねてゆく中で、少しずつ自分に自信が持てるようになってくると思います。

※電通大に来たことで、出会えた北澤先生や、数学や力学の授業で共に頑張った建築学科での友達、機械系が苦手で試行錯誤している時に助けてくれた学科の友達。その全ての出会いが何よりかけがえのない宝物です。電通大に来て、その人たちに出会えたことで、自分の夢に出会えたというか、自分の夢を持てる

ようになったと思っています。

今は、自分が経験してきたのと同じように、色々な人に出会ったり、新しい考え方に出会ったり、たくさんの刺激を受けたり人に刺激を与えられる場所を作りたいと思っていて、そういう意味でアトリエを作りたいと思っています。

※建築事務所とかでなく、一般の人も含めて色々な人が集まったり、刺激を与えあえる場所を作りたいです。ジャンルを問わない人たちが集まりイノベーションが生まれる「アトリエ」を作ることが夢です。

大阪万博で宮部さんの作品にあいたいのですが どうすればよいのでしょうか

※宮部さんの作品視聴する WEB サイトの情報

▼「バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン」

<https://2025osaka-pavilion.jp/virtual-pavilion/>

※アプリ「REALITY」をダウンロードして視聴

※作品にたどりつく方法にコツがあるので以下に書きます

- ①アプリをダウンロードする。
- ②アバターを作る▶「バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン」のバナーをクリック！
- ③アバターの世界に入ったら、左側に向かって進む。
- ④企業ブースのある広場が見えてきたら「@@@」の前に立つ。▶入賞作品が自動再生される



取材後の感想 ぜひ、訪ねてくださいね。出会いが人生のちょっとしたスパイスになるかも！

退職される先生からのメッセージ

2025年、弥生3月をもってご退職される先生方からのメッセージをいただきました。

先日2月5日は、寝屋川キャンパスで川口雅之教授（環境工学科）のテーマ「学生と歩んだ材料開発」と題して最終講義がもたれ、大学関係者に現役学生に交じって教え子たちもお祝いに駆けつけました。

先生と友電会とは、卒研室対抗ソフトボール大会を通じてその年の世話係代表教授として親しくしていただきました。

校内ですれ違う先生は、どこか飄々としていて小異にはこだわらない大らかさを感じさせていただきました。そんなお人柄を表す「電池の材料」は講義の聴衆も突っ込みどころとばかりに、「どうして椿だったのですか」と質問、ウイットの聞いたご回答をいただきました。会場が温かい雰囲気包まれたのは言うに及びません。

教師と学生との関係は「たった1年のお付き合い」と考える卒業生もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、研究を通じて付き合ってきた教え子を愛おしく思い出される姿からは永遠の時を感じました。

学生・卒業生の皆さん、ぜひ、恩師と再会する機会を設けてはいかがでしょうか。第1回目の謝恩パーティ（卒業パーティ）は、今日、学位授与式の後開催します。研究室仲間と先生方の絆を確かめ、さらに研究室を越えたつながり確かめる楽しいひと時をお過ごしください。2回目、3回目の同窓会をされる場合は、友電会事務局に声をおかけください。ご協力させていただきます。



誰もが幸せになる権利を持っています

基礎理工学科 環境化学専攻
大学院工学研究科 教授 川口雅之先生

ご卒業、ご入学おめでとうございます。私は31年間、本学で教員を務めました。学生さんとの講義・実験、および研究室での交流は大変楽しいものでした。私は今春、定年退職を迎えます。最後に、皆さんにお伝えしたいことがあります。

それは、世界人権宣言（1948年12月10日の第3回国際連合総会で採択、パリ）に書かれている『誰もが幸せになる権利を持っている』ということです。ただ、待っているだけで幸せになるとは限りません。私からの具体的なアドバイスとしては、自分を知ってもらうことが大切であるということです。周りの人に、自分はこういうことが得意だ、しかしこれが不得意だということを知ってもらい、自分にとって良い



環境を作ってみましょう。

自分の得意なことは意外と気づかないもので、友達や保護者の方に聞いておくと良いでしょう。反対に不得意なことは自分で知っている人が多いと思います。自分の得意・不得意を関係する人に伝えておくと、その人に誤解されずに過ごせるのではないのでしょうか。

以上が、これまで見てきた卒業生の様子や私自身の経験からお伝えしたいことです。皆さんのこれからの幸せをお祈りしています。

「これから社会人になる皆さんに向けて」

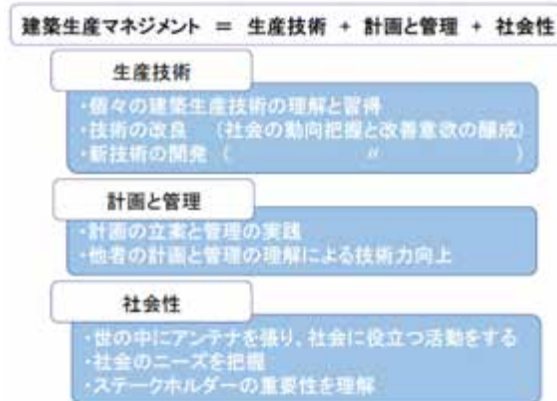
建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 教授 高畑顯信先生

2025年3月に本学を退官するにあたり、いずれ社会人となる学生皆さんに一言贈ります。

私は、民間の大手建築会社で38年間勤務をした後、本学では「建築生産」を中心とした研究と教育を7年間行ってきました。会社時代は、建築現場、施工計画、研究開発などの技術畑の他に、調達、経営企画、子会社社長、親会社の経営など幅広い業務に携わってきました。

その結果、建築教育には技術だけでなく、その周辺領域にも拡大した「建築生産マネジメント」が重要であるとの結論に達しました。本学にてはこれを実践し、授業では基礎力と応用力を醸成し、研究では社会ニーズや技術開発など常に最先端の情報を取り入れて来ました。

以下は私の研究室の活動方針です。これから社会に出る皆さんには、是非参考にして「社会で求められる人」に育ってほしいと考えています。



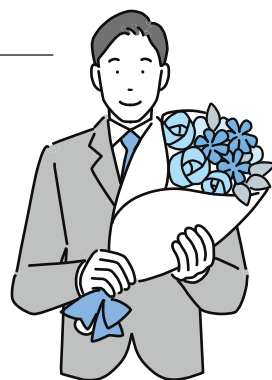
「人との出会いを大切に」

医療健康科学部 健康スポーツ科学科 教授 山下陽一郎先生

人生の中で、さまざまな人との出会いがあって転換期を乗り越えてくることができました。感謝してもしきれません。

この度定年退職するにあたり、今後どのような生活を送るのかはいまだ不明ですが、教育現場や指導

現場から地域社会に視線を変更し、多くの人との関わりの中で生きていきたいと思っています。



「40年間の教育研究を振り返って」

情報通信工学部 通信工学科 教授 前川泰之先生

私は今から40年前の1985年4月に当時の工学部通信工学科に専任講師として赴任しました。1985年と言えば、通信の分野で電気通信事業法の成立に伴うNTT民営化や通信業務の自由化が始まった年であり、それに関連して当時(株)CSK(現SCSK)が本学に直径5mのパラボラアンテナを有する地球局を設置し、その時開設された衛星通信研究施設専属の教員および研究員として着任しました。以来、数々の通信・放送衛星の電波を常時受信して、電波伝搬路で発生する降雨減衰等の測定や解析を行い、最近ではNTTとの共同研究を通して日本の衛星通信・放送サービスの基幹回線の運用に貢献して参りました。

この様に40年間の長きにわたりほとんどデータを絶やさず取得できたのは、ひとえに卒業研究や大学院の研究でそれらを支えてくれた500名を超える数多くの卒業生のおかげであると感謝しています。またそうした通信業務の一端を実際に伝えることで、卒業生が就職先でも高い評価を受けていたことをお伺い致し、これも衛星通信研究施設のおかげと常々感謝しております。

教育面では電磁気学と電波や無線通信関係の授業を主に担当し、受講者にはかなり難解で不評な点多々あったようですが、無線従事者の育成や将来の通信業務の理解に少しでも役立つ点がありましたら

「来し方」から「行く先へ～建築学科新時代」

建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 教授 佐々木厚司先生

早いもので設立委員時代を含めてもう8年、その間に前任校の35年の経験を丸ごと詰め込んだのもあって、あっという間の在任期間でした。当初拠点のZ号館6Fから新米の主任がしばしば訪問した旧A号館の本学コアゾーンへ行く途中にはいつも窓の向こうにポプラ並木。この中庭囲み型配置は我々にとっても原点の光景でした。今や新棟パサージュにその記憶が刻まれ、春先にはキャンパスの華やかな舞台となっています。1期生諸君と盛り上げた「学園コンペ+ワークショップ」や「ポプラプロジェクト」成果も広場や家具デザインに活かされ今に息づきます。この特集号が皆さんの目に触れる巣立ちの春には「学科同窓会」が今春4期目卒業生諸君を送り出す立役者として益々存在感を増してくれているでしょう。でき立ての建築学科に早々と誕生したのは友電会からのご支援の賜物です。お陰様で既に巣立った社会人や院生を含む同窓OB諸氏も実績を発揮し始めており、さっそくこの冬には一挙に一級建築士合格の報があちこちから飛び込みました。一方、今につながる「対外作品展」は新学科成果を発信するために2年目からの取組みでした。例えば「なにわ建築フェスタ」等の成功にもつながるこれら流れは各種多様な交流を生み、地域社会、業界とのネットワーク構築

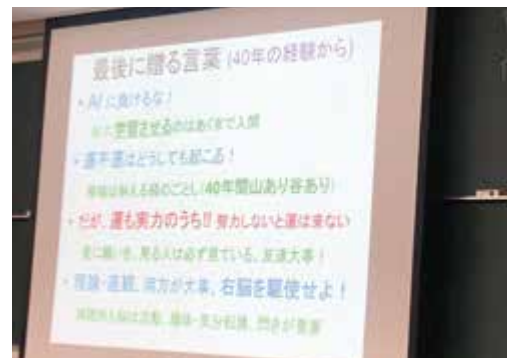
の端緒となりました。寝屋川エリアの歴史文化に寄り添いつつ、さらには地域連携、対外的社会連携スタンスのアピールにもつながることで、特にコロナの向かい風の中でも、自治体、公共機関との各種協定締結やさらにはBIM拠点認定等への決め手となったと言えます。お世話になった諸先生方、事務方の皆様のご指導ご尽力なくては実現しなかったこと多々あります。この場を借りて御礼申し上げます。念願の新学部新学科の「行く先」をますます期待させて頂けるような大変恵まれた機会を得たとの思いで一杯です。最後に「来し方」を振り返りつつ「【新学科】行く先に憂いなし(感謝)」。

(2024 学外研修シリーズから)



大変幸いです。また、卒業研究や大学院では膨大な測定データの解析が必要となり、最近の話題のビッグデータ解析の先駆けを示せたのではないかと考えております。最後に40年間の長きにわたり、衛星通信

研究施設での他大学に例を見ない独自の教育研究を支えて頂いた大学関係者、および卒業生の皆様に深くお礼を申し上げます。



「新春座談会」報告

～ 自由な雰囲気だけど、まじめな話し合い ～

会 場 寝屋川キャンパス 生協学生食堂(2号館)3階(簡単な食事と飲み物付き)

開催日 2025年1月24日(金)18:30～ 2時間



第1回座談会'25に参加した
学生さんと友電会役員たち

大学祭実行委員会 臨キャンイベント実行委員会 アコーステックサークル Photo部 通信研究会
給付奨学生 友電会三役と組織部会長及び関西地区支部役員 進行：大神爽平（組織支援部会）

今年度は、これまで以上に大学祭やなわフェスで積極的に学生組織と連携し学生行事を盛り上げてきた。また、一部の支部総会やイベントに学生たちの参加が見られ、幅広い年齢層の会員が集い和やかな事業が営まれるようになってきた。

日ごろ、友電会とつながりがある委員会や部活動の学生たちとが交流し、自由な雰囲気のなかでお互いの立場を理解し合えるコミュニケーションの場を設けることができた。新春に相応しいフレッシュな交流会となった。

－ 1部 －

- はじめに（開会あいさつ）
自己紹介（友電会、学生団体）
乾杯
趣旨説明
同窓会活動の紹介～現状と課題～
1. 学生からの質問
 2. 学生生活の今昔
 3. 友電会からの質問
 4. 大学生活と将来の夢
 5. 学生生活の悩み・困りごと
 6. 大学への要望

－ 2部 －

友電会から学生への提案

例) 支部活動への参加に関すること

学生団体から友電会への提案

例) 学生イベントへの支援のあり方と
手続きについて



進行役を務めた大神爽平理事56期卒

座談会の会話から【喫緊の課題と学生との連携】

開会の口火を切った大神爽平理事 (56 期卒) は、理事会メンバーの中で最も若い。組織支援部会に属し、沖洋一部会長の下、次代を担う若手である。今年度は、近隣支部総会にも精力的に出席し友電会理解に努めてきた。大神理事が進行役を務め座談会が進められた。自己紹介後、廣谷明会長から「友電会」の説明があり、全国に設置された 17 支部は、それぞれが特色ある活動をしており、近年は幅広い年齢層と異業種間交流が盛んとなってきた。しかし、世代交代が円滑でなく支部消滅の危機にある現実を直視し、若い年層の会員とのつながりをどう結んでいくかが喫緊の課題となっている。友電会創立 60 年、益々の発展のため、ぜひ、学生の皆さんとつながりたいとあいさつされた。



【学生の声】 学生たちの要望を聞こう!! //////////////////////////////////////



西田さん
4年

西田光輝(通信研究会)
ミラーサーバーを大学で構築したいが、施設・資金が必要である。友電会からのサポートを期待したい。



高須賀さん
2年

高須賀将那(蹴キャン)
新入生歓迎のイベントを開催したいが友電会で支援してもらえないか。また、会には部室に収まらない人数が在籍する。何とかならないのか。



山下さん
3年

山下恭佑(Photo 部)
友電会とは、先輩のころから続く関係。特に総会で撮影をお手伝いしてきた。その分を活動資金補助でいただいている。他にもどのような範囲で補助してもらえるか基準を示してもらえないか。



土橋さん
4年

土橋由佳子(奨学生)
友電会事業の情報宣伝についてお尋ねします。アコースティックサークルが演奏したことは マイポータルサイトで広報されているのですか。
友電会の給付奨学金の案内を多くの学生は見ているだろうが、「友電会はコワイ!!」という印象を持っているのではと思います。それを取り除くことを課題としては?

【友電会が学んだ事】 //////////////////////////////////////



廣谷会長



三宅副会長



岡本副会長



藤田副会長



水谷大阪支部副支部長

■友電会の各氏からは、大学との関わり方や資金を引き出す方法について助言があった。学生の要求実現には手続きがいるがそれを学ぶことも大事な学びだとした。

■友電会活動に参加しやすいバランスの良い年齢構成組織を構築するようにしたい

■支部活動に参加できる企画の検討を求めて行こうと思う

■対話する機会をさらに開いていこう

会の締めくくりにあたり、「充実した学生生活が過ごせるように、友電会との絆を深めることを確認して第1回座電会は閉会した。25年度は、新入生の生活が落ちつく頃に、ぜひ、集まりましょう。

われら 電通家族 ～新入生のみんなへ～ 大学生生活を楽しく過ごそう

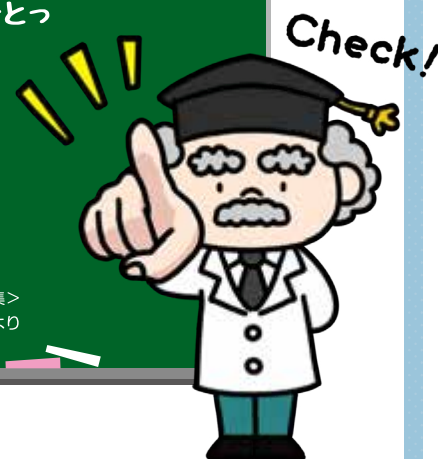
晴れて本学の学生になられた新入生の皆さん。改めて入学のお祝いをさせて頂こう。

私は、はるか昔に電通大を卒業したOBであります。皆さんの親御さんより歳をとっておりお爺ちゃん。大学のことなら教職員の次に知っておる。友電会という同窓会組織に所属して活動しております。さて、大学生活を始めるにあたって心配事もあるだろう？！困ったことがあれば、学務課に相談しよう。懇切丁寧に困りごとを解決するアドバイスをしてくれるぞ。

ここでは、知っておくとよいかな？と思われる情報を提供しよう。

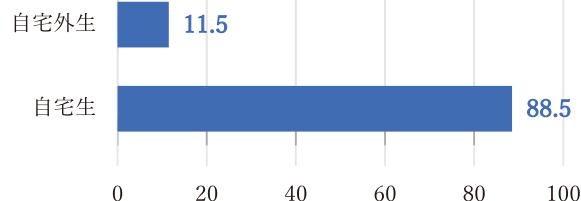
この調査は、2024年に実施した131名の回答をまとめたものである。
何かの参考にしてくれたまえ。

出典 第60回(2024年)学生生活実態調査<データ集>
～大阪電気通信大学生生活協同組合調査より



1. あなたの住居形態は

全体の9割弱が
自宅から通学している

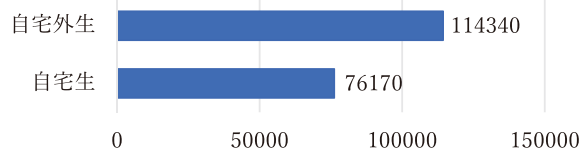


2. 1か月の生活費

生活費(収入)とは

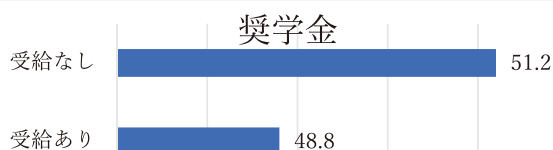
- ① 小遣いまたは仕送り
- ② 奨学金
- ③ アルバイト収入

1か月の生活費



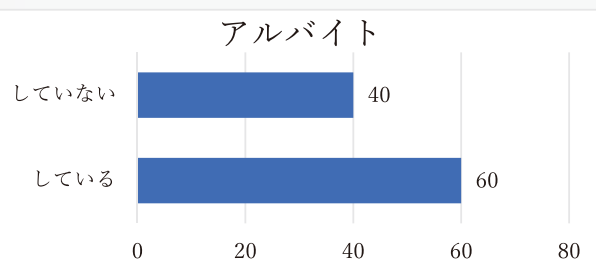
3. 奨学金の受給割合

半数の学生が受給している。



4.生活に占めるアルバイト

- ①全体では、6割の学生がアルバイトに従事していた。1週間当たりの労働時間は、5時間～20時間働いているものが5割だった。



社会人の場合、残業時間が週80時間越えは過労死ラインと言われるが、勉学との両立を考えると適正な労働時間は何時間になるのだろうか。履修する授業数を考えたバランスの良い労働時間を決めていただきたい。アルバイト収入が5万円を超える学生は、20時間近く働いている。



5.アルバイト収入の使い道 ベスト5

- 1位…高額商品の購入
- 2位…車・バイク購入
- 3位…旅行・レジャー
- 4位…生活・生活のゆとり
- 5位…サークル費用

調査では、部活・サークル活動に所属している割合が全体の4割弱あった。アルバイト収入の使途が、個人消費に支出されるものと人とのつながりで支出されと考えられる。

6.アルバイトの職種 ベスト5

- | | |
|----------|--------|
| 1位…販売 | 2位…飲食業 |
| 3位…家庭教師 | 4位…事務 |
| 5位…運送業ほか | |



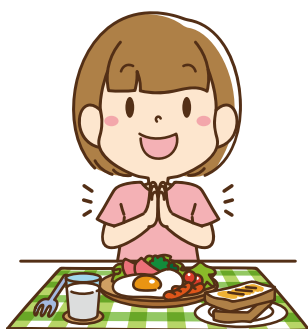
7.日ごろの悩み ベスト5

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1位…授業・レポート等勉学上のこと | 2位…生活費やお金のこと |
| 3位…就職のこと | 4位…自分の性格や能力のこと |
| 5位…専門分野や進路のこと | 6位…生きがい |
| 7位…アルバイトや時間がないこと | 8位…対人関係・恋愛ほか |

※ハラスメントに関する被害は、特にないと回答した数が9割であった。落ち着いた大学生活が過ごせていることが伺える。また、実数は少ないが、次のようなトラブルを経験する学生があったので用心ください。

- | | | |
|----------------------|-------------------|----------------------|
| 1) 訪問販売・キャッチセールス | 2) 自転車による交通事故 | 3) バイト先での金銭や労働条件トラブル |
| 4) 宗教団体・カルトからのしつこい勧誘 | 5) SNS上の金銭トラブル ほか | |

8. 食事情



※昼食は9割の学生が摂っていると回答した。

朝食は、自宅で食べてくると答えた7割、大学の朝食
堂1割、食べない学生が2割いた。朝食した学生の8
割が昼食を食べていない実態も知ることができた。

9. 留学・海外経験

海外に行きたいかを聞いたところ、「希望する」と答
えた数が3割、思わないと回答した数が5割だった。

10. 大学生活の重要事項

1位…勉学・研究 2位…人間関係の構築 3位…バランスの良い生活
4位…部活・サークル活動 5位…趣味 であった。

11. 電通大学を選んだ理由を答える質問

1位…学びたい専門分野がある 2位…就職に有利 3位…学力にあっている

12. 電通大は第何番目の志望の大学か

第1志望だったと回答した数が7割であった。

13. 大学への愛着度は

レベル5: 25%
レベル4: 67%
レベル2または1: 8%

※9割以上の学生が大学生活に前向
きに取り組んでいると考えられる。

14. 充実度

充実している: 9割
いいえ: 1割

※学生のほとんどが有意義に生
活していると回答した。

15. サークル加入状況に関する質問

所属している 38%
検討中 18%
入らない 44% と回答した。



※社会に出るまでの4年間にさまざまな体験をし、多くの
人との交わりを通じて人間力を身に付けてください。

府民の森・なるかわ園地のトイレ新築実施設計 業務の最優秀提案事業者に決定しました

建築・デザイン学部生まれた若年起業家集団が選ばれる

一級建築士事務所 Create For Smile合同会社（大学発ベンチャー）

大阪府が発注元の府民の森トイレ（所在地 東大阪市上四条町 他）の新築企画提案が公募された。母校建築・デザイン学部内に立ち上がったベンチャー企業（2024年度友電会の若年企業支援団体第1号）が応募して見事、最優秀提案事業者に選ばれた。

概略（趣旨・目的）

民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、受託事業者を募集・決定します。

【大阪府ホームページより引用】

もう少し、説明すると、自然公園の各施設は、①風景の保護と利用の増進を両立させるもの、②トイレ整備も風景と調和したもの、③清潔、安全に加え誰もが使いやすく、維持管理しやすいものにする必要があります。本トイレの設計にあたっては、周辺景観との調和だけでなく、新たな魅力創出に繋がるおしゃれなデザインなど木材の特性や整備箇所の目的・特徴を踏まえつつ、利用者が木材の良さを体感でき、安全の確保（開放性）とプライバシーの確保（閉塞性）の両立と利便性も向上するといった、複合的な視点に即した実施設計を行うものとします。

令和6年9月4日発表



ホームページによれば、公募型プロポーザル方式により提案募集を行い、最も評価が良かった本学のベンチャー企業に決定したという。工事の進捗状況等は、今後HP等でお知らせします。楽しみにしてください。

事業者の選定結果について

大阪府環境農林水産部みどり推進室みどり企画課

本事業の最優秀提案事業者が決定しましたので、お知らせします。

(1)事業者名 一級建築士事務所 Create For Smile合同会社



プロジェクトを説明する北澤代表（本学助教授）



PMの土居さん



敷地から見た大阪平野

建築学科 合同卒業制作展 2024 が 開催されました

『Untitled』：
同じタイトルではアラワセない
84コからハミデタ個性
貴方は何を感じる・・・」



4年生の卒業テーマで研究テーマに沿った模型や論文が展示された。展示場所は、去年リニューアルオープンしたばかりの大学構内のアトリエで行われた。設計（デザイン）・環境問題・構造・新しい技術と様々な角度からアプローチされていて、4年間の学びがぎゅっと詰まった作品がそれぞれの魅力を引き出していた。

建築学部2年の授業では、年間4個模型製作するとのことで結構ハードらしく徹夜もざらとのこと。建築学部4年生に話を伺うと「4年になると、さらに内容が厳しく大変だったが、だからこそ達成感がある」「大変だからこそ面白い」と放った姿が印象的だった。

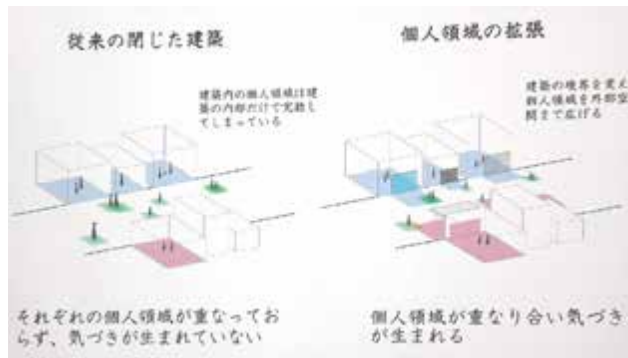
また、1～3年生、院生も本展示会に参加していて、授業課題であるフォントデザインや模型が展示されていた。

テーマに沿った研究がそれぞれ提示され、4年間の集大成である創造力や発想力などが発揮されたように感じた。

個々で特徴や雰囲気異なり、常に面白く鑑賞できて美術館に行っているような感覚だった。

友電会で、いつの日か家を作るときが来るかもしれない。そして、家具や電気製品など、なんでも作ってしまって本当に住めちゃうかもしれないと、勝手に想像した。

今年は終わってしまいましたが、ぜひ来年お越しいただきたいです。



建築学科は2018年に工学部に増設され、2024年に建築・デザイン学部が改編された。
本イベントは、2024年4月に完成した寝屋川キャンパスのアトリエで開催された。

〈学生特派員：土橋由佳子（機械工学科 4年）〉

2025(令和7)年度 友電会のめざす像

会員の目線に立った友電会活動の推進をめざして

一社法人)友電会 廣谷 明

2024年2月に友電会社員(119名)に『今後の友電会活動の在り方について』のアンケートがされ、貴重なご意見や声が寄せられました。そこで、会運営に当たって感想と私見ではありますが今後の方向性を述べます。

まず、回答者の8割の方が支部活動に参加されておられます。そのことから、友電会活動は支部活動に支えられていることを改めて認識させられました。就任1年目に開催された17支部のうち14ヵ所の総会に訪問・参加いたしました。

自由工房で活躍する学生との交流イベント(京都支部)、OB・OGによる「まったり就活座談会」(電建会特別支部)、阪堺電車(チンチン電車)を貸し切ったの総会と学生サークルを招いての懇親会(大阪支部)、講師を招き講演と歌で交流会(奈良支部)、新人OB歓迎会(東京支部)、瀬田川屋形船と地元講師を招いてのイベント(びわこ支部)など、地域ならではの文化を生かしながら多種多様な取り組みが展開されました。そこには、準会員である学生や卒業後初めて参加された方など確かな広がりを示しています。

若い世代の参加を求める声がこのアンケートから聞こえてきます。「青年部会」の設置の声もあります。これからは、若年者の参加できる魅力あるそして、参加して楽しかったと言える企画を準会員の意見を交えて見出すべきと考えます。

最後に、自然災害への対応については、「何が出来るか」の視点に立った友電会(同窓会)活動の具体化を示していくべきと考えます。



新体制がめざす友電会像 ～人事刷新で新たな一歩を～

(2024年6月～2026年5月)

3つの合言葉



具体的方針案

- 社会で活躍する卒業生や友電会の事業や各支部で活動するOB・OG諸氏と連携した運営に努める。
- 大学・学園の発展に寄与するために、一層緊密な相互関係を結び、準会員に対して支援する。
- 学園同窓会の発展のため、高等学校同窓会や友電会の連携強化さらに短期大学部同窓会(校友会)の元会員を包括した連合同窓会組織の検討を行う。
- 法人としての使命を自覚し、地域社会に貢献できる事業を創造する。
- 幅広い年齢層の友電会会員が電通大卒のブランドで集まり、明日を語る事業展開をする。

2024(令和6)年度の足跡

期間：2024年6月22日～2025年3月8日

1. 主な会議記録 開催日と会議名

2024.06.22	定時社員総会開催 寝屋川キャンパス	2024.10.26	業務執行役員会9(三役会)
2024.06.30	業務執行役員会1(三役会)/臨時理事会	2024.11.03	なわフェス/ホームカミングデイ共催/ 第6回理事会/R6給付奨学金認証式
2024.07.03	業務執行役員会2(三役会)	2024.12.14	業務執行役員会10(三役会)
2024.07.13	業務執行役員会3(三役会)	2025.01.11	第7回理事会
2024.07.27	業務執行役員会4(三役会)/第4回理事会	2025.02.08	なわてん
2024.08.04	業務執行役員会5(三役会)	2025.02.09	なわてん
2024.09.07	業務執行役員会6(三役会)/全国支部長会	2025.02.10	学校法人役員選挙告示
2024.09.21	大学祭/業務執行役員会7(三役会)/第5 回理事会/eスポーツ大会(電腦文化祭2)	2025.02.22	業務執行役員会11(三役会)
2024.09.22	大学祭/eスポーツ大会(電腦文化祭2)	2025.03.08	第8回理事会
2024.09.29	業務執行役員会8(拡大三役会)	2025.3.17	友電会誌「ゆうでんかい141号」発刊
2024.10.22	友電会誌「ゆうでんかい140号」発刊		

2. 定款に基づく事業評価

【事業】

第4条1号 会員相互の親睦に関する事業

- ・各支部の活性化を図るとともに、支部の新設を推進した。
 - また、支部に対して、各支部助成を行い、運営を支援した。
 - ・支部に対しイベント費を助成することで、会員交流を活発にした。
 - ・若年会員の積極的な勧誘を推進した。
- (OB柔会特別支部の設立支援、医療福祉の会や電建会など若年層会員の活動支援)
- ・若年会員起業家支援事業を継続実施し、新たな挑戦をサポートした。

第4条2号 研究発表会、講習会、座談会等の開催に関する事業

- ・本会総会および各支部総会において記念講演会を実施した。
- ・母校のキャリア授業へのOB講師派遣を支援し、学生の学びを充実させた。
- ・課外活動サークルとの座談会を開催し、学生との交流を深めた。

企画広報部会 部会長 堀江 健二郎

「広報部部会」から「企画広報部会」に改称され、その活動内容も多岐にわたり、その重要性も更に増えています。激しく変化する大学を取り巻く制度や母校の状況等をタイムリーに的確に卒業諸氏に発信していかなければなりません。そのために、本会ホームページの見直しや会誌の掲載内容の精選とその深化を図ってまいりました。大学との連携のもと会員の皆様の必要とする情報や大学の動き、同窓生の活躍、支部の活動、また、法人組織として法的に遵守しなければならない事項の報告等、紙面の充実に努めてまいりました。

組織支援部会 部会長 沖 洋一

組織支援部会は支部等の組織を支援することを目的として活動しています。

今年度は学生とOBとの交流イベント「新春座談会」も実施しました。地域支部、特別支部は、(一社)友電会の下部組織ではなく独立した組織と認識を改め、金銭的支援だけをしてきました。今後は、運営面での支援(成功例の情報共有など)も行う予定で、新規の支部設置も支援致します。居住県に地域支部がない場合は、HPで各支部のイベントを確認しご参加ください。大歓迎です。

2024年10月18日、法務局に登録の変更申請がなされ、一般社団法人友電会は、正式に代表理事を廣瀬一夫から廣谷明に委譲しました。2024年度の事業に関する成果を報告します。

第4条3号 機関紙の広報に関する事業

- ・機関紙「ゆうでんかい」やホームページの内容を充実させ、情報発信力を向上させた。
- ・登録社員向けにメール通信を推進した。
- ・ホームページリニューアルを実施し、利用者の利便性を高めた。
- ・ゆうでんかい誌を2回発刊した。

第4条4号 学校法人大阪電気通信大学の発展に関する事業

- ・eスポーツ大会(電腦文化祭)の開催を推進し、若年層会員と在学生との交流を深めた。
- ・給付奨学生を6名選出した。
- ・給付奨学金制度を拡充し、新たに寄付金制度を策定した。
- ・「後援会・友電会貸与奨学金制度」を運営し、学生の学びを経済的に支援した。
- ・海外大学との技術・研究提携を支援した。
- ・法人理事や法人評議員として母校の経営に参画し、発展に協力した。
- ・卒業パーティーを支援・協力した。
- ・課外活動が盛んになるよう表彰制度を支援し、学生の努力を称えた。

第4条5号 その他 当法人の目的を達成するために必要な事業

- ・各種規定を整備し、会の運営基盤を強化した。
- ・令和6年度6月に定時社員総会を寝屋川キャンパスJ号館で開催した。
- ・定例理事会を8回、臨時理事会を1回開催し、会の運営と事業を推進した。
- ・業務執行理事会(三役会)、各部会、各委員会を随時開催し、事業・活動の円滑な遂行を図った。
- ・全国支部長会議を1回開催し、支部活性化や新支部設立について意見交換を行った。
- ・支部と情報共有を進め、さらに高校同窓会や母校との連携を通じて、会活動の充実を円滑な運営を推進した。

3.【部会の設置等】 評価

第50条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、部会を設置することができる。

事業推進企画部会 部会長 岡崎 浩也

以下の事業を実施しました。

①大学祭でのeスポーツ開催、②ホームカミングデーでのイベント開催、③東京ゲームショウの参加支援eスポーツ大会の初開催となった昨年度の経験を踏まえ、ゲームタイトルの選定を見直した結果、親子での参加が目立った。また、本イベントでは100名を超える多様な参加者を集めることができた。友電会を広く周知する絶好の機会と捉えて来場者が気楽に友電会活動に触れられる仕組みを考え、OB・OGの参加が参加できる魅力的なイベントを目指します。東京ゲームショウは、「大阪電気通信大学」の代表としての活動をバックアップし、学生活動がより活発になるよう積極的に支援します。

事務統括・財務部会 部会長 上川 直紀

事務局には日々さまざまな情報が届けられます。それらを滞ることなく伝達・整理・発信する業務が事務局の役割です。各部会の事業運営を支えることで皆様からの負託に応えられると考えています。また、「ほう・れん・そう」をモットーに本部と社員・会員の中継地としての役割を自覚し、事務局から情報を発信いたしますので、理事はもちろんのこと社員の皆さまにも即応いただきますようお願い申し上げます。どうぞ、ご支援をお願い致します。

ホームカミングデー

2024年11月3日(日)、四条畷キャンパスにて「ホームカミングデー2024～卒業生のみなさま、おかえりなさい!」が行われました。さらに、「なわフェス'24」(四條畷キャンパスイベント運営委員会主催)も同時開催され、キャンパスは一日中活気にあふれていました。

2024

11/
SUN

3

12:00~17:30

2024年度友電会給付 奨学金認証式

OB・OGの前で緊張しながらも、今後の自己実現の達成にむけて胸を高鳴らせていました。

久原巧夢さん
(総合情報学部
情報学科4年生)
デジタルツインの
研究活動に取り組んで
います。引き続き研究に
集中したいです。

寺地由有さん
(医療健康科学部
健康スポーツ
科学科2年生)

スポーツビジネス
コンテストの集客率を
上げるには、どうすれば
良いか?を日々
考えています。

土橋由佳子さん
(工学部 機械工学科4年生)

現在、フォトグラメトリーを
基盤とした力学的評価の
システム開発を進めています。

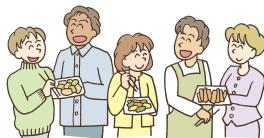
永崎瑠七さん
(情報通信工学部
情報工学科2年生)

委員会活動
をさらに活発に
行いたいです。

奨学生に、
今頑張っていること・
抱負を聞きました



懇親会



まず塩田邦成学長、大石利光理事長、廣谷明友電会会長より、開会の挨拶が行われました。ご挨拶では“これからの大阪電気通信大学”について語られました。

石橋美和後援会会長の乾杯の音頭で、歓談がスタート。会員相互の歓談と大学関係者との親交が深まるひと時でした。やがて、フィナーレに、管弦楽団による演奏で大学歌を斉唱。

渡部隆志副学長による閉会挨拶で締めくくられました。

「2025年は、寝屋川キャンパスで再会しましょう。」



千葉から来ました。
ホームカミングデーに参加するのは
2回目です。こういう学校の雰囲気
が好きだなと感じています。寄宿舎学校
のようなものがあると良いかもですね。

(神山清明
電子機械工学科15期)

ホームカミングデーとなわフェスを
同時開催したことでいつも以上に
キャンパスが活気で溢れていたと思います。
これからもOB・OGの方に気軽に
来校していただきたいです。

(大阪電気通信大学
法人事務局長 田尻実)



一般社団法人大阪電気通信大学友電会 企画

REVIEW SHOW

レビューショウ

(元 OSK 日本歌劇団出演)

一般社団法人大阪電気通信大学友電会・ なわフェス'24 コラボ企画 「みんなで踊ろう」

レビューショウには、OSK 日本歌劇団の愛瀬光さん、妃那マリカさん、栞さなさん、かなめ樹里さん、さらに、まあさとさんが特別出演されました。華やかで迫力のあるパフォーマンスの数々に、会場は一気に盛り上がりました。



演者さん、L.Bダンス部 部長にインタビュー！

・L.Bダンス部部长

奥野元揮さん

(工学部 基礎理工科学科3年生)

観客の皆さんが笑顔だったので、自分たちも気持ちがノって楽しかったです。

・まあさとさん(特別出演)

このような舞台に呼んで頂き、とても嬉しいです。

・かなめ樹里さん

父の卒業校というご縁から、今回のお話を頂きました。笑顔で観劇してくださった方が多く、嬉しかったです。

大学の歴史が長くなってきて色々なところに縁のあるOB・OGが増えてきたことに感動

先輩たちが繋いだ縁が現役生に繋がったのが良かった

仕草、所作にメリハリがあってすごく良かった



なわフェス

「つながるなわフェス」をテーマに、学生たちは自主制作のゲームを企画を展示したり、グッズ販売を行うなどそれぞれの“個性”を光らせていました。

実行委員長を務めた福原大誠さん(総合情報学部 ゲーム&メディア学科2年)は「今年は“地域の方々に寄り添う”ことを大切に、四条畷市で取り組んでいる『100にんのサンタクロース・プロジェクト』に参加し、97体目のサンタが本校に寄贈されました。学生と地域がつながる機会が少なくなっている中で、市の一員として、なわフェスを開催することができてとても嬉しいです」と語りました。

OBが四条畷キャンパスに集まる初のホームカミングデイ！
良い一日でした。

(早野秀樹
電子工学科28期)

前回よりもさらにイベント内容が良くなり、特に学生の演奏があったのは、良かったです。

(観野福太郎
電子工学科4期)



ゲーム



グッズ販売

友電会 会長挨拶

一般社団法人大阪電気通信大学
友電会 廣谷 明 会長

ときめきをひとたびこの場で感じたい、そして、しっかりと思い起こしたい。そのような気持ちを持って、友電会代表としてここに立たせていただいています。ステージでの、元 OSK 日本歌劇団の方々の演技や歌・踊りに触れ気持ちが高鳴りました。ぜひ、来年も会場を満席にできる企画を運営していきたいと考えています。本日は、ありがとうございます。

社員の広場

実態把握と今後のあり方

調査対象	2022年2月現在社員 119名
調査方法	インターネット調査による友電会事務局が運用する社員のメールアドレスにアンケート依頼し回答を得た。
調査期間	2024年 2月14日 ～ 2024年 2月16日
回収状況	回収数47件
概要	時代に応じた情報発信に移行することをうたいホームページのリニューアルを図ったが、会員の評価は低かった。友電会の事業を見直し、社員の若返りを図ることが喫緊の課題で、社員ですら友電会事業のことを知らない現状への不満が多く寄せられた。

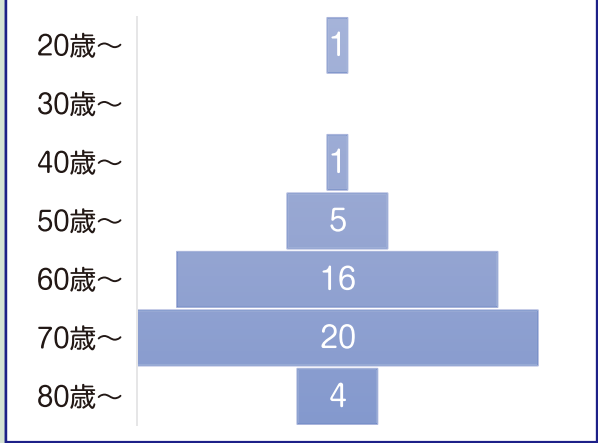
趣旨・目的

一般社団法人友電会は、1965年の創立以来同窓会組織として歩んできましたが、2020年に法人への移行を果たし3年の任期を終えました。本会は、従来の評議員制から代議員すなわち会員の代表の社員制度となり、本会が運営されています。

今回のアンケートは現在社員の皆様を対象にアンケートを実施しました。俯瞰的に友電会を覗いていただく立場からご意見を頂き、一社法人友電会のあり方を考えるきっかけになることを目的に実施しました。

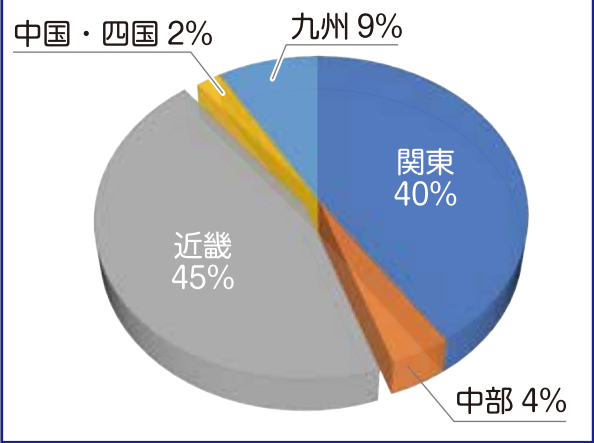
調査詳細

1. 社員の年齢構成



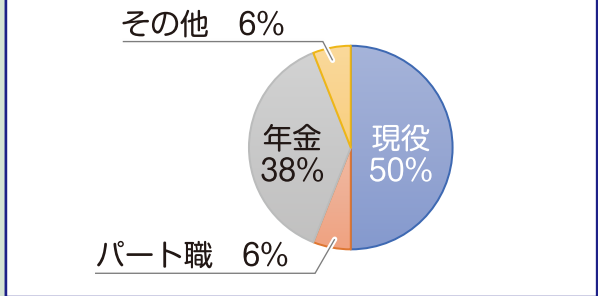
60歳以上の社員が占める割合が8割近い。若者が参加する友電会の事業計画をどう描けるかが喫緊の課題だ。

3. お住いの地域（属性）



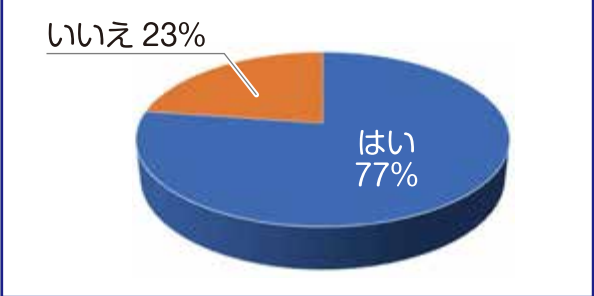
社員分布の現状である。近畿と関西に集中しており、中国・四国の割合が低い。また、中部圏に在住の会員は相当いらっしゃるので均衡がとれた構成が望まれる。

2. 就労状況



設問1では社員の高齢化が顕著だが、現役で働いている社員も過半数いらっしゃる事が分かる。

4. 支部に所属していますか

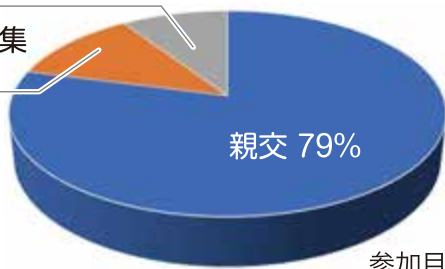


支部に所属している社員が8割弱いる。友電会は、支部活動によって支えられていると考えられる。

5. 支部活動に参加する目的

その他 9%

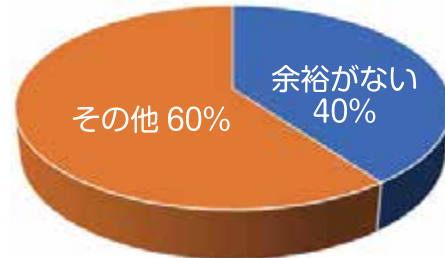
情報収集
12%



参加目的

同窓が集い親交を深める機会として支部活動は意義があると8割の社員が答えている。

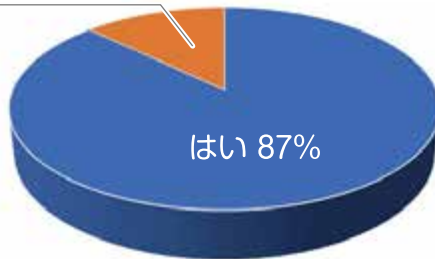
6. 支部活動に参加しない理由



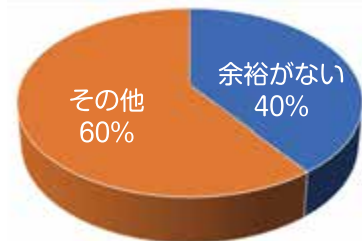
支部活動に参加しない社員の理由は、「時間に余裕がない」が多く4割を占めた。一方でできない理由を特定できない割合が6割あった。

7. 社員総会への参加

いいえ 13%



総会に参加していますか
社員総会への参加できなかった理由には、社員によって異なる。

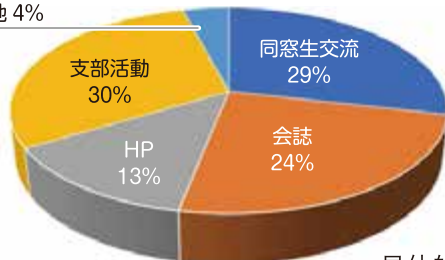


参加できない理由

社員の役割には総会に参加し、会員代表者としての考えを発言することが重要だと考えるとき、1割強の社員は参加していない現状があった。

8. 友電会との関係

その他 4%

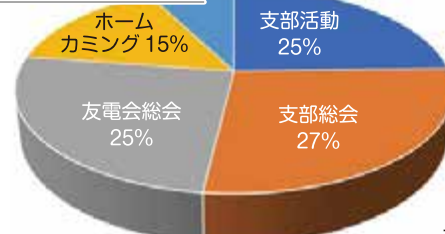


具体的活動

日頃、同窓や支部活動に参加している様子が伺える。本部の会誌やHPも有効な手段と考える。

9. 友電会事業の認知

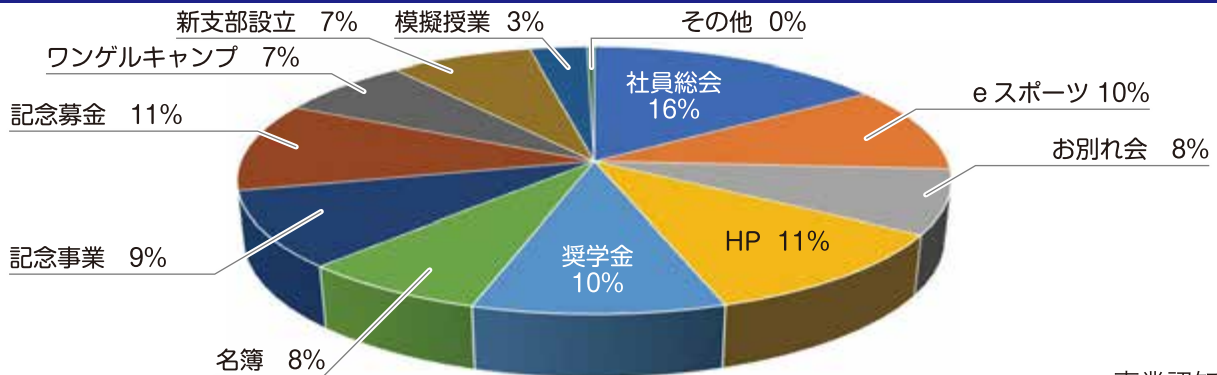
その他 8%



取組み

支部活動を重視している社員が多い。

10. 知っている事業名



事業認知度

情報共有/伝達が理事で止まっている。支部レベルまでの広がりが重要だ。

11. 事業に関する意見・感想

1) 情報発信・コミュニケーションに関するご意見

- ・全国に散在する会員に向けた情報発信が少なすぎる。年2回発行の会誌は日々の情報を発信するには不向きで、そのためにホームページのリニューアルがなされたと聞くと、情報量は増えたのか。
- ・YUDENKAI会誌の掲載記事の見直しが必要。
- ・新支部の設立に部活が含まれているのは知らず、また、事業が結果報告のみで社員ですら知らないことが多過ぎる。年次総会において、執行役員は丁寧な説明責任を果たすべきである。このような運営が、一般的に社員総意でないと思われる。是非、活動予定や計画・検討イベントについても社員全員に意見確認頂きたい。
- ・年次計画を会員に示さないで集まりが悪いとはどういう見か。友電会総会への参加促進を促すのであれば、ホームページ上に開催日時が記載されていない事は問題だ。
- ・総会で強行採決で物事を決めているが、それで良いのでしょうか。

2) 会員の参加促進に対する事業

- ・準会員ら正会員になる際（卒業時）のPR が不足（またはまったく実施していないのではいでしょうか？
- ・支部が日本各地にあることの告知を含め、新規会員（支部に参加できるような）を増やす努力をするべきです。

- ・もう少し在学生や若い会員たちの現実に目を向ける必要があると思います。
- ・学生に対する就職情報の提供・支援、就職先地域の情報提供などを行うのは如何でしょうか
- ・HPをリニューアルされても、情報が適宜アップデートされていないようです。これでは閲覧数は増えないでしょう。
- ・過去のことを掘返して先を見ていない方も多いのかなと思いました。
- ・現役の学生と交流できる会を通じて学生理解を！
- ・友電会がなぜ必要なのか、現状を正しく知るべき。そうすることで、必要な事業が生まれてくるのでは。
- ・学校及び在校生に対する支援事業の実施
友電会だけで活性化策を考えるのではなく、大学ともあるべき姿を両方で真剣に検討頂き、よりよい人間関係の醸成を実現頂けるようお願いしたい。

3) 役員選出に関する意見

- ・権限が役員に集中しており、社員がないがしろになっている。
- ・社員は国で言えば議員に当たるので、会員互選で選出すべきで現在のように会長が指名した選考委員会での選出は問題がある。全会員での選挙が望ましいが、難しい場合は支部長会など会長と関係がないところで選出するのが望ましい。

12. 友電会に対する要望

1) 情報公開・情報収集

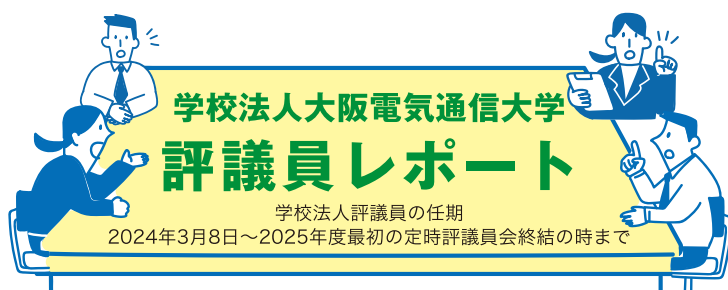
- ・もっとHPから情報を発信してほしい。
- ・理事会等の決定事項を社員に発信してほしい。
- ・社員ですら、友電会の現状が不明です。
- ・友電会の運営に関しては、年齢層が上がっていくのではなく、若い世代も取り入れて、年配者は運営から引退してもらうといったことが必要ではないかと思います。
- ・新しい組織に変わり、若い世代も入りやすい構造になってきていますが、積極的な世代交代が必要だと思います。
- ・若い人は仕事等で参加しにくいので意見だけでも集めて反映出来るものはしてあげたい。
- ・能登半島地震被害地の石川、富山等に向けて、在学出身者はじめ地域住民に貢献できる事業を臨時的に立ち上げて欲しい。
- ・「会員相互の親睦を図る」友電会の総会における混乱が非常に残念に思う。 発言内容にも将来に向けた建設的なものが無く、会員自身の意識化企画も必要。
- ・会員同士の信頼関係の構築が会発展の基盤にあると考えます。不信感がある中で良い関係は生まれず、

前向きな活性化策が中々議論できない状況も大きな問題の1つと思います。

「青年部会」を設置してみるのも一案だと思う。

- ・公明正大な友電会運営
- ・社員総会の回数を2～3回に増やして欲しい
- ・支部規定の見直しが検討されていますが、支部長会議の内容が、どのように組み込まれているのかを示してください。
- ・能登の地震など自然災害があったときに、友電会は、被害にあった友電会員に援助すべき。何をするかではなく、何が出来るかという観点から、出来ることを行うべき。これは、友電会事業の一つと考えます。会費はこういうことのために使用すべきと考えます。親睦のためという飲み食いが主では会員は離れます。
- ・大学のOBの会でありそのための友電会である。
- ・大学意向をあまりにも聞きすぎているように思えてなりません。もう少し自分たちのOB会として、運営するべきかと思います。

〈所感〉 この度のアンケートに対して、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。アンケートによる意見集約は一つの手法であり、完全でないことは承知しています。しかし、社員の皆様のお考えを一つでも拾い上げ、社員同士の共感が生まれる環境ができましたら幸いです。アンケート集計の場を社員の広場としました。共に明日を語りたいです。
(事務局発)



一社法人友電会選出の学校法人評議員および理事は、私立学校法改正によりこの度任務を完了します。友電会を代表し大役を務めあげたことに感謝と労をねぎらう言葉をおくりたい。1年の締めくくりに業務報告を頂いた。広く会員の皆様にお知らせします。

阪井 悦三氏 (16期卒) 社員区分

「激動期の始まりを感じて」

一昨年より法人評議員を担う事となり、評議員会をはじめ学園や友電会の各種会議やイベントに参加致しました。その中で、母校を取り巻く環境の変化が非常に厳しい事を改めて認識し、この様な時期に評議員であることに身が引き締まる思いと共に、責任を強く感じながら活動して参りました。

数年後に起きる学生数の大幅減少への対応は母校の最重要課題であり、私学法改正によるガバナンス強化は評議員会の権限を高める事となります。今後、法人評議員の役割は一層重要となり、責任と覚悟をもって臨むことが必要になると感じました。

中村 通氏 (8期卒) 社員区分

「評議員就任の一年を振り返り」

一昨年11月初旬頃の選挙により学校法人大阪電気通信大学の評議員に選出され、この間、不祥事により改正された私立学校法への対応、新年度を迎える本学の基本方針、予算、人事に関する案件等を協議する評議員会議に出席してきました。私立学校法改正後における不祥事防止対策としては、明確な組織役割分担の実施、理事会と評議会における兼職の禁止、理事に対する責任追及、解任請求、解任提起を可能にして組織における自浄能力の強化が図られています。また、一昨年末に新しく選出されました評議員の任期も改正に合わせて一年限りとなり、この春に改選が行われます。法律の改正に揺られた年度でした。

大学の興隆には、能力を備えた学生の獲得が不可欠です。それには、受験生から大学の教育、研究内容に強い興味を持たれるか否かが鍵になります。その鍵となる大学の重要機関として大学院があります。本学の大学院について評議員会で協議する機会を得ましたが、深耕するまでには至っていません。最近、大学院への進学者数が減少傾向にあると聞いています。興隆し続ける大学の実現に向け、必要な取り組みを継続していきます。

堀江 健二郎氏 (14期卒) 理事区分

「母校の飛躍・発展を期待して」

三宅前法人評議員が法人理事に就任されました。その後任として、昨年7月の友電会理事会において選任されました。2025年度の定時評議員会終結時に辞任予定ですので、僅かな任期ではありますが、友電会選出の評議員としてその任を全うする所存です。

私立学校法が改正され、また、大学受験人口がますます減少し、複雑多様化する社会状況において、法人評議員の責任や役割は非常に大きなものとなってきています。その任務の重要性を再認識し、母校が社会的使命に応える大学、役立つ大学、社会から必要とされる大学として飛躍・発展し続けるよう微力ながら努力してまいります。

廣谷 明氏 (12期卒) 理事区分

「新たな大学との連携をめざして」

学校法人大阪電気通信大学の評議員を務めて2023(令和5)年11月、友電会理事枠から法人評議員に推挙され、2024(令和6)年3月8日付で寄附行為第29条第1項第6条評議員に就任いたしました。任期は、3年ですが私立学校法の改正に伴い大学の寄附行為の一部が改正になることから、2025年度最初の定時評議員会終結時(6月頃)に辞任することが就任承諾の条件とされています。就任時の評議員会で、常任議長に選任され、私立学校法改正の大きな節目を迎えようとする評議員会の議事運営に当たらせて頂いたことは責任重大であると感じております。あわせて、同窓会代表であることの自覚を堅持し、友電会長の任を受けた後も引き続き評議員・常任議長を続けさせていただきました。この間の主な議事は、事業計画案や予算編成案、実績報告、そして、寄附行為の一部改正審議でした。大学の経営や運営に同窓会の視点で向かい合わせていただいたことを同窓会代表として感謝申し上げます。

最後に、今回の私学法改正は、我が国の公教育を支える私立学校の実効性あるガバナンス改革の推進のための制度改正で、理事と評議員の兼職が禁止され、今までの諮問機関としての役割から理事行為の差し止め請求や責任追及、理事の解任を求めるなどその任務はより重要なものへと変化して参ります。このことから同窓会組織も今まで以上に質的向上が求められます。今後とも、同窓会活動にご理解とご協力、



学校法人評議員会の様子



2024(令和6)年度 友電会支部活動の軌跡



一社法人友電会(会長 廣谷明)は、会員相互の親睦と研さんを一層進めるようと積極的に支部活動支援を行ってきました。
令和6年6月の定時社員総会で廣瀬体制から執行部体制が移行してからは全国17支部の総会には必ず三

役が出向き友電会の現状把握に努めています。また、沖洋一(組織支援部会長)が全国支部長会を招集し、支部長との協議を重ね、実効性がある支部規程がまとまりました。新支部規程はホームページから確認することができます。

開催日	支部名	支部長	内 容
R6.04.13	神戸支部	幸村 常一	総会・仏教遺跡参拝旅行講演
R6.05.18	医療福祉の会	岡崎 浩也	総会・講演会・懇親会
R6.06.23	WV部OB会	田谷 利明	総会・懇親会
R6.06.29	友電会OB柔会	長谷川 慎二	特別支部設置総会・懇親会
R6.07.06	北関東支部	坂手 宏行	総会・酒蔵見学会・懇親会
R6.09.28	京都支部	兵藤 敏夫	総会・学生研究発表・懇親会
R6.10.05	びわこ支部	堀江 健二郎	総会・「光る君へ」研修会・懇親会
R6.10.12	九州支部	小松 周治	総会・懇親会
R6.10.14	電建会	松本 康平	総会・まったり就活座談会・親睦会
R6.10.19	神奈川支部	杉田 吉広	総会・見学会・懇親会
R6.10.27	茨城支部	塩田 善裕	総会・見学会・懇親会
R6.11.09	大阪支部	平岡 臨	総会・路面電車貸切懇親会
R6.11.16	奈良支部	松井 俊樹	総会・「日本の始まり」研修会・懇親会
R6.11.30	東海支部	藤田 英治	総会・音楽鑑賞会・懇親会
R6.12.07	東京支部	蕭 炯森	総会・基調報告会・近況レポ・懇親会
R6.12.22	千葉支部	神山 清明	総会・忘年会



神戸支部



WV部OB会



友電会OB柔会



北関東支部



京都支部



びわこ支部



九州支部



神奈川支部



茨城支部



大阪支部



奈良支部



東海支部



東京支部



医療福祉の会



千葉支部



電建会



特色ある 支部活動

全国17支部(地域支部13、特別支部4)は、特色を生かした



【大阪支部】

R6.11月9日(土)

快晴の大阪ミナミ。JR天王寺駅に電通大卒業生(24名)に現役学生(14名)が集まった。その中には、総会には珍しく女子大学生が3名参加された。今年は阪堺電車を借上げてイベントを実施した。



JR天王寺駅 みどりの窓口に集合した。

大阪支部役員の手には、路面電車に持ち込む大量の飲食物を用意し阪堺電車のホームに終結した



ライブコンサート

満員の車内では、大学でサークル活動するPHOTO部、四条畷イベント運営委員、eスポーツサークル等の学生さんたちが参加、ギターを抱えて参加した3人グループは、OECUアコースティックサークルの学生たちだ。車内ライブが催され、ギターを抱えた彼らは車内を和ませるために荒井由実の曲を皮切りに、「サライ」(谷村新司作曲)を仕込んで歳が離れた私たちと大合唱してくれた。



天王寺駅を出発

この企画を楽しみに集まった38名は、すし詰めめの車内に座り、支部総会の進行に耳を傾けた。車窓からは昭和時代の街並みを望み飲食をたのしみつつ、浜寺駅をめざす。



まじめに語ろう学生生活

寝屋川キャンパスと四條畷キャンパス間の通学における交通手段の削減により苦労している。との声があり、友電会組織の拡大と並行して学生の後方支援に努めたいと感じた。2024年度から始められた新しい大学日課は、関西圏でも「遠方から通学してくる学生の交通手段の削減と重なって通学できない危機にある」と切実な悩みを語っていた。友電会の目的である大学教育への支援に関わって、これからも幅ひろく困り感やニーズの把握に努めなければと感じた。



天候に恵まれた一日、異空間(走る貸切電車)で、38名の楽しい旅は、短い慰安?研修?旅行を終えてJR天王寺駅に帰ってきた。皆さんお疲れ様でした。

来年の再会を楽しみにしています。
感謝のことば 大阪支部長 平岡 臨



運営がされている。その中から2支部を取り上げて紹介します。

【東京支部】

R6.12月7日(土)

東京支部は、創部から首都・東京の利便性を生かし、関東地域在勤の同窓、東京を通過点とする同窓に対する「道の駅」ならぬ「同窓の駅」を目指しています。この趣旨から、定例会や、新人歓迎会、総会などを通じてつぎの活動を行っています。

ア) 母校の発展への貢献及び最新情報の公開

イ) 友電会の趣旨に基づく事業の展開

ウ) 同窓諸氏の情報交換や活動発表を通じた功績と経験の共有

エ) 同窓諸氏間の交流と親睦など

オ) 東京支部ホームページによる情報発信及び各種の相談受付

<https://yudenkai-tokyo.com/>

令和6年度 年次総会を、2024年12月7日(土) 東京永田町にある都市センターホテルにて開催しました。御来賓として大阪電気通信大学の大石理事長、渡部副学長、田尻事務局長、そして、友電会本部の廣谷会長、三宅副会長、藤田副会長と部会長及び大阪府、京都府、愛知県、長野県、三重県、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、北関東支部等の幹部など総数43名の方々にご参加いただきました。

特に、30才以下の若いOBの方々が多数ご参加いただけた事は大変嬉しく、情熱的な交流と懇談で非常に有意義なひと時となりました。



懇親会の様子



大石理事長

今回、各位にご発表頂いた内容はとても豊富で興味深いものでした。

- ◆大石理事長より母校を取り巻く課題についてのお話、
- ◆渡部副学長による四条畷キャンパスの動画紹介・ご説明、
- ◆田尻事務局長は世界CYBASHLON 2024大会3位の紹介、また、基調講演では、総合情報学部デジタルゲーム学科2008年卒のTECOPARK株式会社 代表取締役 三宅 俊輔 様より、自らが開発した「国内外500万ユーザのゲーム!」の素晴らしい内容を発表して頂きました。

支部総会は皆様のご協力で滞りなく終える事が出来ました。本当に感謝申し上げます。東京支部が運営するホームページは、公開してから約5年が過ぎました、新たなコーナーを設けるなどリニューアルを実施する予定です。皆様の投稿をお待ちしております。

感謝のことば 東京支部長 蕭 炯森



全国に居住する58,000名の友電会会員のみなさま 今春、社会人となられるみなさまへぜひ、お近くの支部につながり、旧交を温めるとともに同窓生との交流でリフレッシュしていただきたいと思います。2025年度は、ぜひ、お近くの支部にお誘いあわせてご参集ください。

短期貸付金と貸与奨学金報告

学務課レポート報告

一社法人友電会定款にこう記している。
大阪電気通信大学発展に関する事業（第4条 第4項）
学生の修学を保障する制度として友電会は、短期貸付金と貸与奨学金を設け永く支援してきました。

- 在學生に無利子で短期貸付を行う
昭和53年度から設けられた事業として継続されています。趣旨は、在學生が家からの仕送りがおこなわれている、などの理由から一時的にお金が必要な場合に無利子で短期間貸し付ける制度です。
また、貸与奨学金は、さまざまな経済的理由により就学困難な学生及び大学院生の修学保障を目的に制度化されて後援会と共同出資して運用しています。
※制度の運用は学生窓口である学務課に委託し運営されています。

○短期貸付金の運用について（報告）

1.貸付金明細

(1)資金内訳		(3)2024年3月31日現在資金状況	
友 電 会	200,000円	学生貸付貸金(未返還)	0円
普通預金利息等	26,556円	寝屋川キャンパスにおける運用資金	126,563円
		四條畷キャンパスにおける運用資金	100,003円
合 計	226,566円	資金残高合計	226,566円

○後援会・友電会貸与奨学金の運用について（報告）

本奨学金の運用については、2団体がそれぞれ3,000万円計6,000万円の資金を運用し、困窮する学生を支援しています。

母校学務課の担当者に昨年からの状況を説明していただいた。以下の通り。
(報告期間：2024年4月1日～2025年1月31日)

- ・短期貸付金：0件
- ・後援会・友電会貸与奨学金：2件（貸与金額：1,432,000円）

※今後の在り方について

短期貸付金は、この数年0件となっています。
後援会・友電会貸与奨学金は、2024年度は2件でした。いずれの制度についても、利用件数は少ないです。様々な資金調達の手段が世間的に充実してきたことで、この制度までたどり着かれる方が減少したからかと考えられます。とはいえ、いずれの網からもこぼれてしまう場合などがあり、いざというときに学生が安心して利用できる、緊急的なセーフティネットの役割を果たしていただいています。今後とも、継続的にご支援賜りたくよろしくお願いします。

お悔やみ申し上げます

2023(令和5)年9月～2024(令和6)年12月に受付しました

ご家族から頂戴しました訃報を掲載いたします。

お亡くなりになられた皆様に心から哀悼の誠を捧げます。

津田 庸太郎 (E01) / 植村 晏久 (E01) / 青木 政治 (E01) /
 石原 智教 (E02) / 橋本 信一 (E03) / 中島 俊一 (E03) /
 尾上 建市 (E03) / 飯田 進 (E03) / 山野 宏 (E04) /
 浅川 和久 (E04) / 安福 寛 (E04) / 広田 憲夫 (E07) /
 木村 喜浩 (E07) / 坂部 正敬 (E08) / 和田 正博 (E08) /
 松井 悟 (E09) / 中嶋 宏昌 (E13) / 福永 勉 (E14) /
 谷川 順一 (E14) / 清水 保男 (E14) / 松浦 昭嘉 (E15) /
 田村 廣士 (E15) / 北田 英夫 (E25) / 皆見 良夫 (F02) /
 桑原 誠 (F03) / 井上 浩治 (F03) / 水谷 栄美 (F05) /
 竹谷 甫 (F07) / 西村 芳実 (F07) / 栗栖 俊朗 (F09) /
 浜田 明義 (F09) / 内谷 孝吉 (F14) / 上野 義明 (F15) /
 北山 俊一 (F21) / 二澤 元昭 (F24) / 中井 和彦 (F29) /
 兒玉 博三 (G06) / 濱本 猛 (G08) / 宮田 泰幸 (G12) /
 長谷川 憲郎 (G14) / 阿佐 康彦 (G15) / 櫛田 啓太郎 (G16) /
 大西 浩之 (G24) / 野本 大介 (G42) / 田中 雄大 (G46) /
 岩田 治郎 (H06) / 丹羽 弘己 (H07) / 内田 初 (H11) /
 茂木 晴夫 (H12) / 明石 和久 (H20) / 小路 健吾 (H36) /
 八木 信一 (H41) / 池谷 典彦 (I05) / 中静 邦夫 (I08) /
 高木 正己 (I14) / 河村 和夫 (I16) / 吉川 享志 (I18) /
 大西 真紀 (I23) / 山下 友彦 (J15) / 境谷 繁輝 (J28) /
 河原林 真也 (K19) / 田和 正明 (K20) / 大西 輝生 (K23) /
 紅谷 修 (K26) / 溝口 浩太郎 (K30) / 芥子 友亮 (M50) /
 辻 颯斗 (U54)

(掲載は学科順です)

* 長年に亘りお届けいただきましたが、夫は昨年秋、
 66歳で永眠しました。名簿の整理をお願い致します。
 ありがとうございます。(1956.7.4生)



会員からのメール便

北から南から



氏 名：石橋 明美
卒業期：25 期
学 科：経営工学科

＊————＊
東京在住で、現在は放送大学生として今後の活動に関連する学習をつつその活動の仲間探いに「テーブルゲームサークル」を立ち上げ2回/月交流しています。
地域でも「多世代交流」&「脳トレ」としてテーブルゲームのワークショップもしており交通費を頂ければ、どこにでも伺います。

氏 名：大平 富義
卒業期：H-08
学 科：電子機械工学科

＊————＊
『大阪電気通信大学卒業の企業家、起業家の仲間を募集しております。
年に数回集まって、仲間との交流会や母校の教職員、プロジェクトチームとの交流会を開催しています。気楽な楽しい食事会（飲み会）です。
お問合せは友電会事務局にお願いします。』

氏 名：沖 洋一 クラブ：EDPS
卒 研：小沢研 住 所：東京都
卒業期：I75 期 学 科：経営工学科

＊————＊
小沢研7期(友電会75期)8名は全員健在ですが、居住地が兵庫3名、岡山3名、香川1名、東京1名とバラバラで、頻繁には会えませんが、SNS(グループLINE)を利用して同窓の絆で繋がっています。
一昨年は大阪で全員集まることができ、今後の対面での再会を約束しましたが、昨年は実施出来ませんでした。
今年こそは、再度、8人全員再会できるよう頑張ります。

氏 名：羽瀧 完俊
卒業期：E-7 期 学 科：電子工学科

＊————＊
7期の私は、82歳になりましたが健康維持のため、そしてバイクを長く愛用していたため、毎日のように体育日課と称し、3邸の庭園整備に励んでいます。
バイク：現在は9台目のバイクで、累計約32万km(地球8周)を達成
絵 画：「手ぶらで参加、油絵教室」を主宰19年になり、初参加者650名、のべ2,700名を超えました。
皆さん、健康維持のため大いに身体を動かしましょう。

氏 名：堀内 定夫 卒業期：G-5
学 科：電子物性工学科
支 部：奈良支部

＊————＊
78歳になりましたが、元気に橿原市観光ボランティアガイドをしております。
3月29日『世界遺産登録を目指す、桜と橿原の歴史』約8kmのウォークをします。
堀内もウォークガイドさせていただきま
す。興味ある方は『橿原市観光協会HP』をご覧ください。

氏 名：竹内 和生 卒業期：87 年
学科：経営工学科 研究室：納谷研
クラブ：柔道部、第19期常任自治委員会

＊————＊
8回生4年で卒業しました。(79年～87年)ちょっと長い学生生活をして、社会人38年生です今年で卒業予定です。
埼玉在住ですが実家は寝屋川にありますのでちょくちょく帰阪します。
大学時分にともに在籍した方“タケウチ”宛に事務局へ連絡ください。

会員からのメール便 **北**から**南**から

氏 名：塩田 善裕(H12074)

卒業期：H-12

学 科：電子機械工学科

＊――＊
卒業して約50年。学生時代をワンダーフォーゲル部員として4年間を共にした同期7名で毎年1泊2日の旅行を楽しんでいます。普段はLINEグループで日々の情報を交換しつつ仲間ということを幸せに感じています。

氏 名：松田 啓 卒業期：(F11154)

学 科：通信工学科

＊――＊
洗濯、掃除、孫の夕飯の準備、専業主婦7年、妻は介護職でともに元気です。時のたつのが早く、今年で73歳。かつての『石川支部』の皆さん、また、集まりませんか？そして石川県在住の卒業生の皆さん連絡ください。連絡先 080-4252-3475
メール pilot.matsuda@gmail.com

匿名で失礼します。会員からの声をお届けします

- 同窓生の消息を知りたい。
彼は、電子機械工学科(志田研)でした。滋賀県出身でした。教職課程を履修して教員になっていると思います。(1971卒)
- 同期の住所を知りたいのですが、歳をとるにつれて、同期の移動等が知りたいのです。
- 京都にお住まいだった道下センパイ、藤井センパイお元気ですか。また、会いたいです。
- ◎高校時代は文系で勉強して入学後の勉強に不安でしたが、先生方に助けをいただきました。電通大学の先生方には感謝しかありません。(2024 医療科学科卒)

氏 名：浅海 洋一 卒業期：(H9003)

学 科：電子機械工学科

＊――＊
2024年12月末で、退職して、毎日休日の日々になりました。思った程、暇ではなく、忙しい日を過ごしています。
『大阪電気通信大学卒業の企業家、起業家の仲間を募集しております。
年に数回集まって、仲間との交流会や母校の教職員、プロジェクトチームとの交流会を開催しています。気楽な楽しい食事会(飲み会)です。
お問合せは友電会事務局にお願いします。』

氏 名：澤居比佐夫 卒業期：17期

学 科：電子機械工学科

＊――＊
同窓生が60,000人の大きな組織になったと聞きました。この中にJICAに関わっておられた卒業生はいらっしゃいませんか。ぜひ、友電会事務局までご連絡ください。(H-元 トンガ 技術科教師)

氏 名：中越 亮

卒業期：43期(2007年卒)

学 科：デジタルゲーム学科 野球部OB

＊――＊
2年連続でセンバツ出場を果たした我が日本航空石川。能登の風に鍛えられた精神力に地元の熱い声援に支えられてチーム力をつけてきました。定評の投手力は堅持しつつ、さらに打撃力を身につけた能登っ子の闘い、ぶりをぜひ、甲子園で観てください。輪島の「wa」の中で一緒に応援しましょう。
日本航空高等学校野球部 顧問 中越 亮

氏 名：平野桂一郎 卒業期：49期

学 科：健康スポーツ科学科 野球部OB

＊――＊
畷キャンパスを卒業して滋賀県内の高等学校に勤務しながら野球を続けてきました。今の学校に落ちついて5年、25年春の選抜高校野球に出場することになりました。創部16年の若いチームです。みなさまからのご声援をいただき甲子園で暴れます。

滋賀短期大学付属高等学校野球部

顧問 平野桂一郎(S2013年卒)野球部OB

詳しいことは

https://yellz.jp/detail/250058/project/297/?community_id=292



友電会

ホームページへの
アクセスはこちらから



社員の方からご意見をいただきました

一社法人友電会 広報誌「ゆうでんかい 140 号」に関するアンケートより



本会が制作した広報誌140号（2024年10月発刊企画広報部会編集）に関して**社員114名を対象にメールによる**質問紙調査を実施しました。目的は、大幅に変更した会誌の評価を求め、これからの制作に助言を得ることでした。

回収期間は、同年11月10日～11月30日としました。しかし、回収率が低かったため、本部役員（理事、監事、顧問、法人評議員）に再度、協力依頼して調査結果に重みを付けるようにしました。

1. 回収結果



2. 属性

調査対象が社員であったこともあり、若年社員の声が集約されていません。

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数				2	7	13	2
%				8	29	54	8

3. 地域

地域	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
人数			1	4		3	8			1	
%			4	17		13	33			4	

4. デザインに関する質問

※今回、業者変更して制作したことに対する意見
制作者が変更されたことが声に反映していると考えました。

回答	良い	やや見にくい	見にくい	その他
人数	17	3	2	2
%	71	13	8	8

5. 刷新された会誌に対する感想

① デザイン性

長年使ってきた「YUDENKAI」を変更。
大学カラーの緑を基調に制作しました。

デザイン	良い	普通	あまり	良くない
人数	15	8		1
%	63	33		4

② 内容

7割近い会員が「よい」と回答いただいた。

内容	満足	普通	少し	物足りない
人数	9	7	3	5
割合	38	29	13	21

③ 印象

総会報告号を記事にしました。様々なイラストを
挿入、新旧の会員・準会員の笑顔を切り取り、親
睦団体として和やかな雰囲気仕上げました。

印象	面白い	普通	あまり	面白くない
人数	6	13	4	1
割合	25	54	17	4

④ ページ数

理事会で会誌の分量を16ページにすることが決められました。
総会に参加できない会員への情報発信量として十分な分量が確保
できたか検証しました。意見には、総会報告が粗いと苦言を頂
きました。年2回の発刊ですが、幅広く記事が集められるとよいと
考えています。

分量	多い	普通	少ない
人数		12	12
割合		50	50

6. 読みたい記事、取り上げてほしい記事やテーマ

- ・活躍する卒業生
- ・本学の名物先生
- ・卒業生の勤務先訪問
- ・学生の課外活動等の成績紹介
- ・友電会の課題、問題点
- ・若い世代の紹介
- ・OB会なのに年間予算に占めるOBへの予算執行を明らかにする記事
- ・友電会の目的が周知されていない
- ・総会や支部に参加できない卒業生の声を掘り起こせ
- ・他大学の論文や研究内容
- ・卒業生の活躍
- ・職場訪問
- ・学園の方向性について
- ・学園同窓会構想
- ・東京支部の取組み
- ・会員からの投稿
- ・優れた研究成果
- ・社会活動、趣味の紹介
- ・友電会と地域や自治体との取組紹介
- ・学生の声
- ・現役と友電会との連携、共同事業
- ・大学評議員に友電会が入る理由
- ・現役学生の情報(体育会、文化会、卒研室など)
- ・事業支援の活動
- ・少子化と大学経営「・・・理事長に聞きました」
- ・クローズアップ支部活動「支部長、役員、特色ある取り組み」
- ・理事会決定事項の周知・伝達
- ・大学のユニークな取組み
- ・支部単位、グループ紹介
- ・人生経験談

多岐にわたるテーマをいただきました。今後の会誌制作の課題といたします。

7. まとめ

・企画広報部制作の会誌は、一社友電会の目的や活動を分かりやすく会員に伝える媒体である。2024年度6月の総会で承認されて事業を開始しました。年2回の会誌で何を掲載するか十分に考え制作にかかれたか、次回141号「卒業生・入学生号」において同じ轍を踏まないよう編集会議を行い、理事会で議論して制作をしていかなければならないと考えます。

今後は、社員の皆さまにも会誌制作にご協力いただき、読んでもらえる機関誌を作成に心がけます。今回のアンケートに協力いただいた会員の皆さまにお礼申し上げます。どしどし、ご意見ご感想を友電会事務局へお寄せください。全国にある支部組織や支部がない地域にお住まいの方には、地域の様子をメール等でお知らせください。

最後に

・友電会の情報を発信するメディアは、インターネットを活用したメールやホームページや会誌があります。それぞれの特長を生かして大学や友電会事業をお知らせしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



2025
年行事
開催

東京支部
新人歓迎会のご案内

東京支部長 蕭 炯森(シヨウ ケイシン)
連絡先: 携帯:090-9342-6188
Email : hsiao_jongsen@dbmaker.co.jp
https://yudenkai-tokyo.com/
本情報は、東京支部ホームページにも掲載します。

ごあいさつ

日ごろは東京支部へのご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
恒例の新人歓迎会を開催する事となりました。
今回で4回目となります。

基調講演では、第一線の現場で活躍しているOBの方をお願いする予定です。
是非、ご期待とご参加をお願いします。
母校新社会人の皆様の多数ご参加を心からお待ちしております。

2025年新人歓迎会の概要

日程: 2025年8月2日(土)11:30~14:30
会場: 東京の都市センターホテル
https://www.rihga.co.jp/toshicenter/
費用: 3,000円/人、5年以内の新社会人は無料

内容: ◆11:30 開始、東京支部支部長 ご挨拶
◆12:00 母校の最新情報
◆12:30 情報発信ホームページご報告
◆12:50 記念写真撮影
◆13:00 懇親会(ご参加者の自己紹介など)
◆11:35 基調講演:
◆12:15 支部事業ご報告
◆12:35 母校歌斉唱



一般社団法人大阪電気通信大学友電会 社員名簿

任期: ~2026年6月定時社員総会

卒業期									
1	大角武紘	(大阪)	羽渕完俊	(神奈川)	26	西尾博道	〈大阪〉		
2	池本善一	(兵庫)	福田武	(長崎)	27				
3	菅野和夫	(岩手)	三橋長夫	(滋賀)	28	早野秀樹	(大阪)	清水良	(福岡)
	廣沢洋	(滋賀)			29				
4	中西義一	(滋賀)	大下眞二郎	(長野)	30				
	観野福太郎	(東京)	鈴木顕広	(東京)	31	新川拓也	(大阪)	芥川善行	(東京)
5	岩本吉男	(東京)	山本弘	(大阪)	32	中田亮生	(大阪)	植野雅之	(大阪)
	池田清	(京都)	吉川博史	(愛知)	33	柴垣佳明	(大阪)	長谷川慎二	(大阪)
	榊原和弘	(千葉)				中井匡斉			(沖縄)
6	兵藤敏夫	(京都)	中山修	(大阪)	34				
	森川佳有	(京都)	北川昇	(大阪)	35				
	小松周治	(福岡)	藤本明	(兵庫)	36	金野洋明	(大阪)	古本賢二	(静岡)
7	田谷利明	(神奈川)	野田鐘一	(大阪)	37	上川直紀	(大阪)	岩村真吾	(大阪)
	平岡臨	(大阪)	廣瀬一夫	(新潟)	38	阿南景子	(大阪)		
8	水谷元也	(大阪)	幸田秀雄	(大阪)	39				
	宇野茂嗣	(滋賀)	船越亨	(大阪)	40	三上哲夫	(奈良)		
	中村通	(京都)	大平富義	(大阪)	41	西川達也	(大阪)	越野八重美	(大阪)
9	大音情司	(大阪)	深野隆司	(埼玉)	42	山下光美	(兵庫)		
	安部喜美雄	(福岡)	森和明	(兵庫)	43				
10	北地憲治	(東京)	山崎貞彦	(大阪)	44	岡崎浩也	(奈良)	河合俊明	(兵庫)
11	松田啓	(石川)	岡本清孝	(大阪)	45				
12	廣谷明	(滋賀)	小林守正	(兵庫)	46				
13	辻佳彦	(奈良)	松井俊樹	(奈良)	47				
	福田真規夫	(大阪)	田嶋正彦	(福岡)	48				
14	山崎敏之	(奈良)	堀江健二郎	(滋賀)	49				
	生田謙二	(千葉)	園田明雄	(大阪)	50				
15	藤井耕一	(大阪)	宮條研次	(愛知)	51				
	沖洋一	(東京)	神山清明	(千葉)	52				
16	幸村常一	(兵庫)	管勝彦	(大阪)	53				
	阪井悦三	(東京)	杉本敢	(大阪)	54	朝日麻衣	(大阪)	住田直幸	(大阪)
17						神宇知一樹			(大阪)
18	小山哲央	(新潟)			55	持木由香	(大阪)		
19	竹田治英	(三重)	梅田弘	(新潟)	56	大神爽平	(大阪)		
20	福井亨	(東京)			57				
21	杉田吉広	(神奈川)	坂本充	(千葉)	58				
	福岡正信	(大阪)	坂手宏行	(埼玉)	59				
22	藤田英治	(愛知)	岩野敬一	(熊本)	60				
23	竹内和生	(埼玉)	二石紀人	(福岡)	61				
24	澤井剣	(兵庫)	森脇憲治	(東京)					
25	石橋明美	(東京)							

当法人に関わる規程は定款の第2章に規定している。第8条【社員及び代議員】及び第10条【社員の任期】に規定されている。現在の112名の社員(代議員)の任期は2026年度開催の定時社員総会までとする。上記の表は、社員の卒期分布を表している。今後、友電会の事業を推進する上で年齢バランスの均衡化は喫緊の課題と考えられる。

がんばれ!! 学生諸君
課外活動表彰

友電会は、学生の課外活動を積極的に応援しようとさまざまな形で支援しています。寝屋川キャンパスでは大学祭実行委員会と連携して、大学祭で友電会の事業としてeスポーツ大会を企画しました。「なわフェス」では暇イベント運営委員会と協働したホームカミング日を運営しました。その他、学生サークルが支部活動に

参加したり、自由工房の取り組みを支部研修会で発表するなど、細やかな学生との関係が生まれた年でもありました。
この度、学生の人間力を豊かにする課外活動で顕著な頑張りを行った団体、個人を表彰する式が、後援会、友電会の後援で開催されました。(2025年3月5日)

表彰種別	団体名	活動詳細
団体	女子バスケットボール部	全関西大学女子バスケットボールリーグ戦 3部⇒2部昇格 / 2024 年秋
団体	バレーボール部	関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦 5部⇒4部昇格
団体	管弦楽団	チャレンジクラブ、ねやがわくらしゅく、はちかつぎ市、寝屋川パーク事業「月見とランタンのタベ」、青年祭友電会主催イベントへの協力
団体	吹奏楽団	チャレンジクラブ、ねやがわくらしゅく、寝屋川苑での演奏、四條畷市吹奏楽祭、友電会主催イベントへの協力
団体	映画研究会	チャレンジクラブ
団体	SF 研究会	チャレンジクラブ
団体	硬式野球部	チャレンジクラブ
団体	女子バスケットボール部	チャレンジクラブ

表彰種別	団体名	活動詳細
団体	ハンドボール部	チャレンジクラブ
団体	アメリカンフットボール部	チャレンジクラブ
団体	バレーボール部	チャレンジクラブ
団体	卓球部	チャレンジクラブ (1/2)
団体	バドミントン部	チャレンジクラブ (1/2)
団体	美術部	チャレンジクラブ、寝屋川市民文化芸術祭に出展
団体	鉄道研究会	チャレンジクラブ
団体	通信研究会	チャレンジクラブ
団体	ダンス部	チャレンジクラブ
団体	Photo 部	友電会主催イベントへの協力、学内行事への協力

表彰種別	団体名	個人名	活動詳細
個人	女子バスケットボール部	山本 来夢	全関西大学女子バスケットボールリーグ戦にて優秀選手賞受賞
個人	女子バスケットボール部	福田 優奈	全関西大学女子バスケットボールリーグ戦にて①得点王②スリーポイント王受賞
個人	少林寺拳法部	沢良木駿介	2024 年少林寺拳法大阪府民スポーツ大会 単独演武有段の部 1 位
個人	少林寺拳法部	杉山 光都	第 62 回少林寺拳法関西学生大会 自由組演武男子白・緑の部 3 位
個人	少林寺拳法部	石井 涼大	第 62 回少林寺拳法関西学生大会 自由組演武男子白・緑の部 3 位
個人	軟式野球部	矢森 大輝	西部大学軟式野球連盟 春季リーグにて最多安打賞
個人	卓球部	梅木 智之	第 53 回後藤杯卓球選手権大会大阪府予選 大阪予選通過名古屋第 53 回後藤杯卓球選手権大会 (名古屋オープン) 出場
個人	卓球部	吉留 楓浦	第 53 回後藤杯卓球選手権大会大阪府予選 大阪予選通過、名古屋第 53 回後藤杯卓球選手権大会 (名古屋オープン) 出場第 57 回会長杯争奪卓球大会 シングルス 3 位入賞
個人	硬式野球部	中本 拓人	秋季リーグ 最優秀選手
個人	硬式野球部	森本 貴太	秋季リーグ 最優秀投手
個人	硬式野球部	水野 堅斗	秋季リーグ ベストナイン 一塁手

表彰種別	団体名	個人名	活動詳細
個人	硬式野球部	本 祥太	秋季リーグ ベストナイン 二塁手
個人	硬式野球部	岩井 昂舞	第 31 回大学野球関西オールスター 5 リーグ対抗戦 選出
個人	サイクリング部	野澤毅留	「第 39 回シマノ鈴鹿ロードレース大会 2 時間エンデュランスチーム 2 人組」で準優勝 LAKE BIWA TRATHLON 2024 U-24 カテゴリー 6 位入賞
個人	サイクリング部	重竹隼	「第 39 回シマノ鈴鹿ロードレース大会 2 時間エンデュランスチーム 2 人組」で準優勝 堺浜クリテリウム第 1 戦で 48 人中 2 位
団体	まちづくり研究会		宮津市内学外活動として町家の再生と地域拠点化事業を継続的に実践し (https://www.osakac.ac.jp/project_now/arc/1440)、まちづくり交流と専門的貢献に成果を上げた
個人	硬式野球部	糟谷 日那	主務 (マネージャー) としてチームに貢献した。4 年生になり、学業が大変になっても選手を支え、部に貢献していた。選手からも信頼を得ている
個人	男子バスケットボール部	殿村 美奈実	主務 (マネージャー) としてチームに貢献した。4 年生になり、学業が大変になっても選手を支え、部に貢献していた。選手からも信頼を得ている
個人	バレーボール部	木本 優喜子	主務 (マネージャー) としてチームに貢献した。4 年生になり、学業が大変になっても選手を支え、部に貢献していた。選手からも信頼を得ている





2025定時社員総会 記念講演のご案内

懇親会開催のお知らせ

1次案内

開催日時

2025(令和7)年6月14日(土) 13:00~18:30

受付

J号館6階エレベーターホール

1)12:30~ 社員対象
2)15:00~ 一般会員対象

開催日程

13:00 ~ 14:30	定時社員総会 J610(小ホール)
15:00 ~ 16:30	記念講演 テーマ「未定」
17:00 ~ 18:20	合同懇親会 J号館1階学生食堂
18:30	閉会

※一部変更がある場合がありますことをご容赦ください

〈 ご案内 〉

2025(令和7)年度定時社員総会は母校寝屋川キャンパスで開催いたします。

時代の変化とともに変わる母校の姿を直に触れて確かめていただくことを執行部一同心より
祈念しております。

大学の未来を学校関係者とともに語れる時間を共有できますことを楽しみにしています。

2025年6月14日に再会しましょう。

一社法人友電会役員一同

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎 秀夫 元学長著

ホームページ <https://yudenkai.or.jp/>

友電会への連絡は e-mail でお知らせください

友電会事務局 info@yudenkai.or.jp

2025年3月17日 第141号

発行所 / 一般社団法人大阪電気通信大学友電会(同大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530

友電会直通 / TEL 072-824-3111 FAX 072-824-1197

発行責任者 / 一社法人友電会 廣谷 明

編集 / 一社法人友電会 企画広報部会、事務局

資料提供 / 学校法人大阪電気通信大学総務部、
同大学学事部ほか

寄贈先 / 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部 その他

印刷 / 株式会社シンコーアドヴァンス

発送 / 有限会社セイコー印刷社